

末日聖徒イエス・キリスト教会・2010年1月号

リアホナ

わたしたちの
時代の羅針盤、
あなたの新しい
『リアホナ』を
見てください

新しい『リアホナ』へようこそ



表紙

表紙 —

ジョセフ・ブリッキー画。

裏表紙 —

フォトイラストレーション/
ジョン・ルーク

ようこそ！ デザインも内容も新しくなった『リアホナ』の誕生を、ともにお祝いください。これまでも皆さんにご愛読いただいていた『リアホナ』ですが、さらに改善するために変更を加える時が来しました。

まず、中央の綴じ込みがなくなったことに気づかれるでしょう。ニュースと子供のページは巻末に移動しました。

皆さんが教会機関誌に求めるものが何であろうと、新しい『リアホナ』はきっと期待にこたえてくれるでしょう。読みごたえのある長めの記事が好きな方は、示唆に富んだ記事が幾つか用意されていますので、その中からお選びください。あまり時間がなく、さっと目を通したいという方は、それも可能です。

今月号から全体を通して新たな企画が始まり、子供向け、青少年向け、ヤングアダルト向けと、はっきり表示されています。教会に入って間もない皆さんには、教会の基本的な教義や実践について書かれた記事が役立つでしょう（「わたしたちが信じていること」14 ページ参照）。教師や指導者、親の皆さんには、愛する人たちに仕えるうえで助けとなる様々なヒントが用意されています（13, 22, 26, 36 ページ参照）。

新しい『リアホナ』の最も画期的な特徴の一つは、成人向けの記事を補足するために、青少年向けや子供向けの記事が添えられていることです（その逆もあります）。特に、大管長会メッセージがそのような形になっています。

ほかにも小さな変更が加えられています。ぜひ今月号にくまなく目を通してみてください。変更はすべて、皆さんが御霊を感じ、天の御父と救い主イエス・キリストをさらによく知るための一助となるように意図されています。この御二方こそ、『リアホナ』について与えられる靈感の究極の源であられるのです。

編集部より

追伸 — 皆さんにお願いがあります。新しい『リアホナ』についての感想をお聞かせください。電子メールは liahona@ldschurch.org にお送りください（件名欄には“New Liahona”とお書きください）。手紙の場合は下記の送付先にお送りください。

Liahona, Rm. 2420

50 E. North Temple St.

Salt Lake City, UT 84150-0024, USA



リアホナ 2010年1月号

メッセージ

大管長会メッセージ

- 4 もうしばらく持ちこたえる
 ディーター・F・ワークトドルフ管長

家庭訪問メッセージ

- 9 自立する

特集

- 16 最善はこれからだ
 ジェフリー・R・ホランド長老
 将来に目を向けましょう。信仰は常に将来を指し示していることを忘れないでください。

- 22 新しい
 『福音の原則』の手引き
 ラッセル・M・ネルソン長老
 この新しいテキストを学ぶことにより、福音の主要な教えに対する理解が深められます。

- 26 扶助協会の働きについて学ぶ
 ジュリー・B・ベック
 第1日曜日のレッスンを最大限に活用する方法を学ぶ。

- 32 山を形成する
 —— 山の案内人と山のたとえ
 アダム・C・オルソン
テイラン
 台湾に住むツアーガイドが、この世のチャレンジが永遠の命という究極の目標にどのようにわたしたちを備えてくれるかについて述べる。

シリーズ

- 10 小さな、簡単なこと
- 12 わたしの家庭、わたしの家族
 —— わたしたちはこうして幸福を知りました
 リディア・エブゲルニェブナ・シマコバ
- 13 教会での奉仕 ——
 え？ わたしが教えるのですか？
- 14 わたしたちが信じていること
 —— 神様はほんとうにわたしたちのお父様です
- 36 福音クラシック —— 主の方法によって情緒面の問題を解決する
 ボイド・K・パッカー会長
- 38 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 80 また会う日まで —— 「あなたがたはわたしを見つけるであろう」
 アロン・L・ウェスト



42

42 わたしたちに対する指導者の言葉——どうすればよいか分からないとき、どうしたらよいでしょうか？

スタンレー・G・エリス長老

44 生活の中の福音——御霊の助けを受ける

サマンサ・M・ウィルズ



今月号の中に
隠れている
リアホナを
搜しましょう。

46 今の時代にも当てはまる

アンドリュウ・ホートン

旧約聖書は今の時代のわたしたちに何か教えてくれるでしょうか。もちろんです！

48 わたしたちのスペース

50 2010年のミュージアルのテーマ

中央若い女性会長会・中央若い男性会長会

「強く、また雄々しくあれ。……」
(ヨシュア1:9)

52 ポスター——じゅうぶん強い

53 そこが知りたい



54 わたしはこのようにして知りました——その本に興味をひかれました

ウィルフレド・バレンズエラ

56 答えを求めて祈る

シルビア・ウォータポー

御霊のささやきに従うなら、祈りは学業においてもわたしたちを助けてくれます。

57 質問の力

バージニア・シルドボック

「宗教のクラスに参加しないのはなぜ」と友人がわたしに聞きました。その簡単な質問は思ったよりもはるかに力強いものとなりました。



64

58 神権を受ける日に備える

リチャード・M・ロムニー

11才の少年の皆さんは、アロン神権を受ける備えをどのようにしていますか。

60 テンプルスクウェアの見学

——ソルトレーク神殿

ジャン・ピンボロー

62 あめ玉

J・ハービー・ハピ

あめ玉がのどにつかえて助けも呼べず、ただ祈ることしかできませんでした。

64 イエス様のお話——エホバと

天のお父様のすばらしい計画

ダイアン・マンガム

66 分かち合いの時間

——せいぶん日記

サンドラ・タナー、クリスティーナ・フランコ

68 わたしたちのページ

70 ちいさなおともだちへ

46



リアホナ 2010年1月号
第12巻1号 (09281 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会公式国際機関誌 (日本語版)
大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ティーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バックナー, L・トム・ベリ, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン

編集長: スペンサー・J・コンディ
顧問: キース・K・ヒルビック, 菊地良彦, ポール・B・パイパー
実務運営ディレクター: デビッド・L・フリッシュニクト

編集ディレクター: ピクター・D・ケーブ
編集主任: ラリー・ヒラー

グラフィックスディレクター: アラン・R・ロイボーク

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ジェニファー・L・グリーンウッド, アダム・C・オルソン

共同編集者: ライアン・カー

編集補佐: スーザン・パレット

編集スタッフ: デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ラリー・ポーター・ガント, アニー・ジョーンズ, キャリー・カステン, ジェニファー・マディー, メリッサ・メリル, マイケル・R・モリス, サリー・J・オデカーク, ジョシュア・J・パーキー, チャド・E・ファレス, ジャン・ピンボロ, リチャード・M・ロムニ, ドン・L・サール, ジャネット・トーマス, ポール・バンデンバーク, ジュリー・ワーデル

主任秘書: ローレル・トイスチャー

アートディレクター: スコット・バン・カンペン

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ: カリ・R・アロヨ, コレット・ネベカー・オース, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・パーデット, トーマス・S・チャイルド, レジナルド・J・クリステンセン, キム・フェンスタマカー, キャスリーン・ハワード, エリック・P・ジョンソン, デニス・カービー, スコット・M・ムーイ, ギニー・J・ニコルソン

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: ランディ・J・ベソソン

日本語版翻訳課長: ヘンリー・W・サブストローム

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替 (口座名: 末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号 / 00100-6-41512) にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30
電話 03-3440-2351

定価 年間予約 / 海外予約 1,800円 (送料共)
半年予約 1,200円 (送料共)
普通号 / 大会号 200円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は下記の連絡先にお送りください。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」は、www.liahona.lds.org に様々な言語で掲載されています。「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスラマ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブア語, 中国語, クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, ギリシャ語, ヒンディー語, ハンガリー語, アイランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, シンハラ語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, タガログ語, タミル語, デルグ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2010 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用される場合は複写することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

合衆国とカナダの読者の方へ:

2010年1月号第12巻第1号「リアホナ」(USPS331-480)日本語版 (ISSN 1344-8595)は、末日聖徒イエス・キリスト教会 (50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150)の月刊誌です。合衆国での購読料は年間10ドル、カナダでは12ドル(税別)です(送料込み: 定期刊行物郵送料はソルトレーク・シティで納められています。)住所変更は60日前にご連絡ください。最近の号の宛名ラベルを同封し、新・旧発送先を明記してください。合衆国とカナダでの購読申し込みは、下記のソルトレーク配送センターにお送りください。購読に関するお問い合わせ: 1-800-537-5971。クレジットカード(ビザ、マスターカード、アメリカンエキスプレス)のご注文は電話で承ります。(カナダ郵便情報: 出版承諾番号 40017431)

郵便局長殿: 住所変更がございましたらお知らせください。連絡先: Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org

成人向け

台湾の玉山国立公園の山々に啓発されて、32ページの「山を形成する」という記事が書かれました。この国立公園の写真をもっと見たい方は、www.liahona.lds.org をご覧ください。

今月号13ページの「教会での奉仕」がよかったと思う方は、www.lds.org の「Serving in the Church」(教会での奉仕)をクリックしてください。召しに役立つ訓練やリソース(英語)が掲載されています。



ヤングアダルト

「最善はこれからだ」(16ページ参照)は、ジェフリー・R・ホランド長老が昨年1月にディボーションで話した説教を基にしています。英語で全文を読みたい人は、<http://speeches.byu.edu> をご覧ください。



青少年

今月号では、新しいミュチュアルのテーマが発表されています。このテーマを記念する新年祝賀行事(英語)を見るには www.abrandnewyear.lds.org にアクセスしてください。

52ページのポスターを見た後、www.newera.lds.org に行ってみましょう。これまでに作られたポスター(英語)が見られます。

「今の時代にも当てはまる」(46ページ参照)には、旧約聖書から学べる教訓がいくつか紹介されています。www.languages.lds.org では、インターネットで旧約聖書やそのほかの聖典を読むことができます。(訳注——言語によってはまだ聖典がインターネットに掲載されていない場合もあります。)

こども



ケートはテンプルスクウェアにあるソルトレーク神殿を訪れました(「ソルトレーク神殿」60ページ参照)。そのときの写真が、www.friend.lds.org で見られます。

また、www.friend.lds.org では、物語を聞いたり、ゲームをしたり、様々な活動(英語)が楽しめます。



日本語で閲覧するには

教会の日本公式サイトは、www.ldschurch.jp です。



大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトドルフ管長



もうしばらく 持ちこたえる

カートランドの時代から学べる不朽の教訓の一つは、わたしたちの霊は常に養いを必要としているということです。だれもが直面する逆境を乗り越えるには、日々主に近くある必要があります。

昨年の夏、妻とわたしは双子の孫をオハイオ州カートランドへ連れて行きました。彼らが伝道に出る前にも時間に過ごすことができ、わたしたちにとって特別な、かけがえない機会となりました。

カートランドを訪問した際に、わたしたちは預言者ジョセフ・スミスと当時カートランドに住んでいた聖徒たちの状況に対する理解を深めました。その時代は教会歴史の中で、厳しい試練とすばらしい祝福を同時に経験した時代として知られています。

オハイオ州カートランドで、主は、この世の人がかつて経験したことがないほどの、すばらしい天からの現れと霊的な賜物を注がれました。教義と聖約の65に上る章が、カートランドとその周辺で授けられました。それらの啓示は、再臨や、乏しい人々の世話をすること、救いの計画、神権の権威、知恵の言葉、什分の一、神



殿、奉獻の律法などについて、新たな光と知識をもたらしました。¹

それは、比類ない霊的成長の時代でした。実に、神の御霊が火のごとく燃えていました。この時代に、モーセやエリヤ、その他の天の使者が姿を現しました。そしてわたしたちの天の御父とその御子、世の救い主イエス・キリストも御姿

を現されました。²

ジョセフがカートランドで受けた多くの啓示の一つは、「パラダイスの木から摘み取られた『オリーブの葉』、わたしたちへの主の平和のメッセージ」と呼ばれています（教義と聖約88章）。この驚くべき啓示には次の崇高な招きが含まれています。「わたしに近づきなさい。そうすれば、わたしはあなたがたに近づこう。熱心にわたしを求めなさい。そうすれば、あなたがたはわたしを見いだすであろう。」（教義と聖約88：63）カートランドの聖徒たちが主に

近づくと、主は確かに彼らに近づいて、その忠実な民の頭こうべに天の祝福を注いでくださいました。

ほとばしる御霊

そのような霊的な現れが最高潮に達したのは、恐らく1836年3月27日のカートランド神殿の奉献式のときでしょう。28歳のウィリアム・ドレーパーも、そのような御霊の現れを経験しました。彼はその日を一種の「五旬節の日」と呼び、次のように記しています。「主の御霊が非常に強くほとばしったその時のことを、わたしはペンで十分に書き表すことも、舌で言い表すこともできない。でも、わたしは今このように述べておきたい。御霊が降り注ぎ、まるで力強い突風のように押し寄せて宮を満たし、出席していた多くの人は異言を語り、示現や天使を見て、預言し、この時代にかつてなかったような喜びの時を過ごした。」³

このような霊的な現れは神殿内だけにとどまりませんでした。「近隣の人々が一緒に走ってやって来て（神殿の中からただならぬ音が聞こえ、神殿の上に火柱のような明るい光が見えたので）、目の前に繰り広げられていることに驚いた。」⁴

後に教会の大管長になったロレンゾ・スノー（1814 - 1901年）は、この祝福された時期にカートランドに住んでいました。彼はこう述べています。「このようなすばらしい現れを受けた後では、どのような誘惑も聖徒たちを打ち破る

ことはできないと、だれもが想像するでしょう。」⁵

しかし、すばらしい霊的な経験をしたとしても、妨害や試練を免れるわけではありません。神殿奉献の数か月後に合衆国の広範囲に波及した経済危機は、カートランドにも深刻な影響を及ぼしました。なお悪いことに、カートランドに移民してきた聖徒たちの多くは、物資をほとんど持って来ておらず、到着した後自分たちが何をするのか、どのようにして生き延びればよいのか、分かっていませんでした。

間もなく迫害が起こり、幾つかの暴徒が聖徒に敵対し徒党を組みました。教会員は——預言者の側近の数人でさえも（その多くは神殿の奉献式に参加していたのですが）——背教し、ジョセフのことを偽預言者だとして非難しました。

妻と孫たちとともにカートランド神殿のそばを歩きながら、わたしはよくよく考えて、霊的な現れの証人になった後でさえ忠実でいらなかった人がいるとは、何と悲劇的なことだろうと思いました。不信者のあざけりや批判を堪え忍ぶことができなかつたとは、何と悲しいことでしょう。財政的な試練やそのほかの試練に遭ったとき、彼らは自分の心の中に手を伸ばして、忠実であり続けるための強さを見いだすことができなかつたとは、何と悲しいことでしょう。神殿の奉献のときの奇跡的な霊の収穫を彼らがどういふわけか忘れてしまったとは、何と不幸なことでしょう。

教訓

教会歴史におけるこの驚くべき時代からわたしたちは何を学べるでしょうか。

カートランドの時代から学ぶことのできる不朽の教訓の一つは、わたしたちの霊は常に養いを必要としているということです。ハロルド・B・リー大管長（1899 - 1973年）は次のように教えています。「証とは、皆さんが今持っているままのレベルで持ち続けるものではありません。証は、確かな光に向けて増し加えられることもあれば、まったく姿をとどめないまでに失われることもあります。それは、証を保つために、わたしたちが何をするかということにかかっています。わたしたちが日々新たにしていくな証こそが、悪魔の落とし穴からわたしたちを救ってくれるものなのです。」⁶ だれもが直面する逆境を乗り越えるには、日々主に近くある必要があります。

今日のわたしたちの世界はある部分で1830年代のカートランドに似ています。わたしたちも財政的な苦難の時代



に生きています。教会や教会員を迫害したり、ののしったりする人々があります。個人的な試練も全体的な試練も、時に圧倒的に思えることがあります。

そのようなときにこそ、わたしたちはいつにも増して主に近づく必要があります。わたしたちが主に近づくときに、主に自分のそばにいていただくことの意味を知ることができます。さらに熱心に主を求めるときに、わたしたちは必ず主を見いだすことができるでしょう。主が御自分の教会と御自分の忠実な聖徒たちを見捨てられることはない、わたしたちははっきり理解できるようになるでしょう。わたしたちの目は開かれるでしょう。そしてわたしたちは、主が天の窓を開き、御自分の光をもっとわたしたちに注いでくださるのを目にすることでしょう。わたしたちは最も暗い夜でさえ生き延びることのできる霊的な強さを見つけることができるでしょう。

カートランドの聖徒の中には以前に経験した霊的な経験を忘れてしまった人もいましたが、ほとんどの聖徒たちは忘れませんでした。ウィリアム・ドレーパーなど大多数の聖徒たちは、神から授けられた霊的な知識にしっかりつかまり、預言者に従い続けました。彼らはその道の途上でさらに厳しい試練に遭いました。しかしまた、もっと甘美な霊的な成長も経験しました。そして、最後に、「決して終わりのない幸福な状態」に迎えられるのです（モーサヤ2：41）。

皆さんは持ちこたえることができます

落胆するように誘惑されたら、信仰を失うように誘惑されたら、カートランドで忠実であり続けた聖徒たちのことを思い出してください。もうしばらく持ちこたえてください。皆さんにはできます！皆さんは特別な世代に属しています。わたしたちの美しい地球の歴史の中で大切なこの時代に生きるために、皆さんは備えられ、取っておかれたのです。皆さんは天の血筋を引いています。ですから、皆さんは自分の人生を永遠の成功物語にするのに必要なすべ



さらに熱心に主を求めるときに、
わたしたちは必ず主を見いだすことができるでしょう。
わたしたちの目は開かれるでしょう。
そしてわたしたちは、主が天の窓を開き、御自分の光をもっとわたしたちに注いでくださるのを目にすることでしょう。

での才能を持っているのです。

主は皆さんに真実についての証を祝福してくださいました。皆さんは主の影響を感じ、主の力を感じてきました。もしもこれからも主を求めらば、主は皆さんにこれからも神聖な経験を与えてくださるでしょう。これらの霊的な賜物とそのほかの霊的な賜物があれば、皆さんは自分自身の生活を改善することができるばかりか、皆さんの家庭や、ワードあるいは支部、地域社会、都市、ステーク、国を、皆さんの善良さを通じて祝福することができるでしょう。

時にはそれを理解するのが難しいこともあるでしょう。しかし、もうしばらく持ちこたえてください。なぜなら、「目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い^{うか}浮びもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために備え」てくださっているからです（1コリント2：9；教

義と聖約 76 : 10 ; 133 : 45 も参照)。

わたしは、回復されたイエス・キリストの福音が真実であり、このイエス・キリストの教会が真実であることを証します。神が生きておられ、イエス・キリストが神の御子であられ、この偉大な教会の頭として立っておられることを、魂と心を込めて証します。また、わたしたちにはこの地上に再び預言者が与えられています。トーマス・S・モンソン大管長がその人です。

わたしたちがいつもカートランドの教訓を覚え、物事が厳しく見えるときであっても、もうしばらく持ちこたえることができますように。主は皆さんを愛し、覚えてておられるということを知り、覚えてください。そして主は、「最後まで信仰をもって堪え忍ぶ」者を、必ず支えてくださるのです(教義と聖約 20 : 25)。■

注

1. 例として、45, 56, 76, 84, 89, 97, 104 節参照
2. 教義と聖約 76 : 23 ; 110 : 2 - 4, 11 - 13 参照
3. ウィリアム・ドレーパー, "A Biographical Sketch of the Life and Travels and Birth and Parentage of William Draper" (1881年), タイプ原稿, 教会歴史図書館, 2。原文(英語)においては、つづりと大文字は標準的な用法に修正
4. *History of the Church*, 第2巻, 428
5. ロレンゾ・スノー, "Discourse," *Deseret Weekly News*, 1889年6月8日付, 26
6. 『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』(2000年), 45

このメッセージから教えるためのアイデア

このメッセージをよく祈りながら研究した後、教える相手の必要について考え、メッセージの中から最も役立つと思われる要点や文章を選んでください。メッセージを準備し、教えるとき、聖霊が助けてくださるでしょう(教義と聖約 42 : 14 ; 43 : 15 - 16 参照)。あなた自身の証を分かち合ってください。さらに、促しを感じたら、本人が望めば、経験や証を話してもらおうとよいでしょう。(教えるためのそのほかのアイデアについては、『教師——その大いなる召し』を参照してください。)

青少年

あかし
証を強める

この自己チェック表を使って、証を強めるために自分がどのくらい努力しているか考えてみましょう。



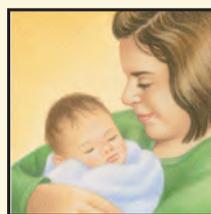
- わたしは信じたいと願っているだろうか。
- 証を強めるために、断食し祈っているだろうか。
- 毎日、聖文を読み、深く考えているだろうか。
- 毎日、戒めを守ろうと努力しているだろうか。
- 聖霊の導きに従おうと努力しているだろうか。
- 促しを感じたときに、証をしているだろうか。

こども

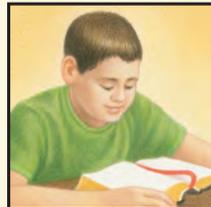
ちか
しゅに近づく

オハイオしゅう カートランドで、よげんしゃ ジョセフ・スミスは けいじを 受けました。しゅは ジョセフに言われました。「わたしに 近づきなさい。そうすれば、わたしは あなたがたに 近づこう。ねっしんに わたしをもとめなさい。そうすれば、あなたがたは わたしを見いだすであろう。」(きょうぎとせいやく 88 : 63) しゅに 近づくと一つの ほうほうは、しゅの よげんしゃに したがうことです。

トーマス・S・モンソン だいかんちょうが わたしたちにすすめていることと、それに 合う絵を むすんでみましょう。



いのりましょう



しんせつ
親切にしましょう

ねっしんに
まな
学びましょう



ひと
人をたすけましょう

あかしを
わかち合ひましょう

せいぶんを
読みましょう



自立する



以下の聖句や言葉、または必要に応じて、訪問先の姉妹たちに祝福をもたらす原則を教えてください。その教義について証し^{あかし}してください。また、訪問先の姉妹たちに、感じたことや学んだことを分かち合うように勧めてください。

自立とは何でしょうか

『自立とは、天の御父からのすべての祝福を用いて、自分自身と自分の家族の世話をし、自分の問題の解決方法を見いだすことである。』わたしたち一人一人には、問題が起きる前に問題を回避し、問題が起きたら、問題を克服する方法を学ぶ責任があります。……

自立するにはどうしたらよいでしょうか。十分な知識、教育、読み書きの能力、お金や資産の賢い管理、霊的な強さ、緊急時や不測の事態への備え、健康、社会的・情緒的な安定などにより、自立することができます。』¹

中央扶助協会会長 ジュリー・B・ベック

福音の責任

「賢明な生活をし、自分の^{たまもの}賜物と才能を増すとき、もっと自立できます。自立すると、自分の霊的・物質的な福利に関する責任、さらに天の御父から託された人々に対する責任を果たすこととなります。自立しているときにだけ、真に救い主に倣って人に奉仕し、祝福をもたらすことができます。」

自立は目的を達する手段であると理解することが大切です。わたしたちの究極の目標は、救い主のようになることです。その目標は無私の気持ちで人に奉仕することによって強化されます。自立の度合いによって、奉仕する能力が増したり、弱まったりします。』²

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老

「自立は、労働の所産であり、福祉につながるほかのあらゆる習慣の基礎となるものです。それはわたしたちの物質的幸福のみならず、霊的幸福に欠かせない大切なものです。この原則についてマリオン・G・ロムニー管長（1897 - 1988年）は次のように述べています。『我々の必要のために働こうではないか。自立心を養い



家庭訪問をする際の助け

訪問教師として、あなたは見守るように割り当てられた姉妹たちの必要を満たす最も良い方法を知るために、靈感を求めることができます。それぞれの姉妹の信仰を強め、家族を強めることに焦点を当てて、働きかけてください。

個人的な備え

創世 3 : 19

マタイ 6 : 33

教義と聖約 82 : 18 - 19 ; 109 : 8

詳しくは、www.ldschurch.jp ; 『すべての必要なものを用意しなさい——財政管理』(カタログ番号 : 04007 300) ; 『すべての必要なものを用意しなさい——家庭貯蔵』(カタログ番号 : 04008 300) を参照してください。

独立しようではないか。この原則によらなければ救いは得られないのである。救いは個人の問題であり、我々は霊的な面だけでなく物質的な面でも個人の救いのために努力しなければならぬ。』……

スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）は、自立についてさらに次のように教えています。『各人の社交面、情緒面、霊性面、肉体面、経済面における安寧を維持する責任は、第1に本人、第2にその家族、第3にその人が忠実な教会員であれば教会が負う。』³

トーマス・S・モンソン大管長

注

1. 「福祉に関する扶助協会会長の責任」『福祉と自立に関する基本原則』（2009年）、4 - 5
2. 「福音に基づく福祉のビジョン——行いで示す信仰」『福祉と自立に関する基本原則』（2009年）、1 - 2
3. 「個人と家族の福祉に関する指導原則」『聖徒の道』1987年2月号、3 参照

小さな、簡単なこと

「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられるのである。」(アルマ 37:6)

世界における教会歴史



香港

中国は1921年1月9日、当時十二使徒定員会会員だったデビッド・O・マッケイ長老(1873 - 1970年)によって、福音を宣べ伝えるために奉献されました。しかし、伝道できる場所は香港市内に限られていました。1949年、十二使徒定員会のマシュー・カウリー長老(1897 - 1953年)が市街地を見渡す最も高い場所であるビクトリアピークから祈りをささげて伝道部を開設しました。

モルモン書の中国語訳は1965年に完成し、次いで1974年に教義と



聖約が出版されました。中国香港神殿は世界初の多目的構造の神殿です。建物内には教会堂や伝道本部、神殿会長の住居を併設しています。

1997年に香港がイギリスから中国に返還されたとき、香港伝道部は中国香港伝道部に改名しました。



使徒であったマシュー・カウリー長老が1949年に香港伝道部を開設しました。



中国香港神殿



よりよく教えるための提案

- 教師から生徒全員の顔が見え、生徒から黑板や視覚教材が見えるようにいすを並べる。
- 話し合いを促したいときは「はい」や「いいえ」で答えられる質問を避ける。「ニーファイに信仰はありましたか」ではなく、「ニーファイはどのように信仰を示しましたか」と尋ねる。
- 生徒が質問に答えたり、意見を述べたりしているときは注意深く聞く。そうすることで生徒は自分の思いや意見が大切にされていると感じる。
- もし集会所に図書室があれば、図書委員にレッスンで活用できる教材を紹介してくれるように頼む。例えば、福音の視覚資料、ビデオやDVD、資料集などである。



左—香港の風景 © Odds
右—アルバタ州カドストン神殿の写真 / シェド・クランク、マッケイ大司教長の写真 / Bob and Heidi
神殿のシェド・クランクの写真 / エルソン・K・リンシヨーン、マシュー・カウリーの写真 / 教会生涯図書館の厚意により掲載、中国香港神殿の写真 / クレグ・ダイヤモンド、木の彫り物の写真 / ウェルデン・C・アダーセン、教師のフォトイラスト / ショーン・リ・ハンフ

親切な行い

アリンゼチュクウ・オケレ

小 さな親切がどんな結果をもたらすか分からないものです。ナイジェリア・ラゴス伝道部のアクレで奉仕していたある1月のことです。だれかに上げようとささやかな贈り物を用意しました。「これを必要としている人はだれだろう」と考えました。2週にわたって日曜日に教会に持って行きましたが、渡す相手を決められませんでした。

3週目の日曜日、ある親しい友人に渡そうと思いながら教会へ行きました。その日、友人は教会に来ておらず、必要としている人がほかにいると感じました。礼拝堂を見渡すと、両親が教会員でない少年に目が留まりました。とても寂しそうでした。贈り物を彼に渡すように促す気持ちを感じました。少年に贈るとわたしの心は喜びに満たされました。

すると、すばらしいことが起こりました。次の日曜日、少年の母親が教会に来たのです。母親は贈り物のことで感謝の言葉をかけてくれました。「いつか教会に行くと、ずっと息子に約束していました。今日は贈り物のお礼を言いに来たのです。」こうして同僚とわたしは少年の母親に会い、彼女は後に教会に入りました。母親がようやくバプテスマを受けるのを見ることができて、少年はとても喜びました。

小さなことにより大いなることが成し遂げられると知っています。

神殿の紹介

アルバータ州カードストーン神殿



デビッド・O・マッケイ長老は使徒として1915年にアルバータ州カードストーン神殿の隅石を置きました。

19 13年7月27日、ジョセフ・F・スミス大管長（1838 - 1918年）はカナダのアルバータ州カードストーンにおいて神殿用地を奉獻しました。元はタバナクル広場のあった場所でした。1887年に聖徒を率いてその地に入植したチャールズ・オラ・カードが教会に寄贈した土地です。1915年9月19日、十二使徒定員会のデビッド・O・マッケイ長老（1873 - 1970年）が礎石を据えて、1923年8月26日

にヒーバー・J・グラント大管長（1856 - 1945年）が建物を奉獻しました。

神殿はブリティッシュコロンビア州ネルソンの近くの採石場から運ばれた、灰色がかった白のみかげ石でできています。アルバータ州カードストーン神殿は、その外観のみならず霊的な力とりでに関しても文字どおり神の砦として、カードストーンからカナダの大草原を一望に収める高台にそびえています。



カードストーン神殿の際立った特徴の一つは、東側の壁にある幅10メートルほどのレリーフです。救い主が井戸でサマリヤの女に生ける水を飲むよう勧められておられる場面が描かれています。

わたしたちはこうして 幸福を知りました

リディヤ・エブゲーニェフナ・シマコバ

ペレストロイカの時代、わたしたちの生活は非常に苦しく、家族は崩壊寸前でした。そんなとき、宣教師と出会い、少しずつ家族のきずなを取り戻し始めたのです。

我が家のきずなは強いとわたしはずっと思っていました。3人の息子と2人の娘はごく普通の子供で、わたしたち親はごく普通に子供に手を焼いていました。時々、子供たちが悪ふざけをすると、わたしはいらいらしました。しかし、後になって「どうしてあんなに怒ったのだろう」と不思議に思ったものです。

そのときはまだ、ロシアでペレストロイカという政治的・経済的変革が始まろうとしているとは夢にも思っていませんでした。どこの店でも品薄になり、数か月間、そして後には数年間にわたって給料が支払われなくなるとは知らなかったのです。生活がとても苦しくなりました。様々な問題を

抱え、夫とわたしは離婚の危機に瀕して（ひん）していました。薬物の乱用が広がる中、息子が手を出してしまいました。まるで我が家に太陽の光がさし込まなくなったかのような感じでした。だれに祈ればよいか分からないまま、神に助けを求めて祈り続けました。家族で必死に取り組んだ結果、少しずつ泥沼から（は）這い出すことができました。

1998年の夏、宣教師がわたしたちを見つけてくれました。新たな進路に向かい、生活が180度変わりました。わたしたちは5年たたないうちに神殿に参入し、永遠の家族として結び固められました。

真ん中の息子がチェコ共和国で専任宣教師として奉仕しているとき、いつも手紙にこのように書いてきました。「確固として立ち、忠実であり続けてください。一つとなっているわたしたちは最高に幸せな家族です。」友人たちも、「たくさんの子供や孫に囲まれて、孤独に悩まされることのないあなたは世界一の幸せ者ね」と言ってくれます。

振り返ると、ベニヤミン王の説教を聞いた民のように、わたしたち家族も心の中に大きな変化を経験し、キリストの子になったのだということが分かります（モーサヤ5:7参照）。わたしにとってとても大きな変化でした。末日聖徒になる前は死について考えると、耐え切れない悲しみで胸や魂が押しつぶされそうでした。苦しい思いを退けるために渾身の力を振り絞る必要がありました。今は心に平安があります。

幸福が様々な形でやって来るとも知りました。幸福は真っ暗な雷雲や、暑さに干からびる大地にも見いだせません。降りしきる雨の中にさす暖かい日差しの中にもあります。ポプラの芽の割れ目からのぞく緑の新葉や、りんごの木の子枝にほころびかけた小さな白い花びらにもあります。漆黒の夜空に輝く無数の星にもあります。愛する家族の優しい表情や、家族写真に写った輝く瞳にもあります。

幸福は、だれかのために善いことをするときにも訪れます。天の御父に祈るとき、わたしの心を優しい炎で温めてくれます。何か物足りないと感じるときには、すでにあるものを大切にするように学ばなければならないことを思い出します。主御自身がわたしに下さったものだからです。■



え？わたしが 教えるのですか？



「そ れではきょうのレッスンは〔あなた
の名前〕が教えてください。」次の
日曜日、教会でこんな言葉を聞いた
らどうでしょう。怖くて青ざめるでしょ
うか。それとも自信を持って立てるで
しょうか。

遅かれ早かれ、教会員は皆、教師にな
ります。初等協会、扶助協会や神権定員
会、家庭訪問やホームティーチング、
家庭の夕べなど、教える機会は様々
です。教会に入ったばかりの多くの
人にとって、教師の役目はなじみの薄
いものかもしれません。何度も教えた
ことのある会員でも、もっと自信を持
ち、もっと効果的に人の生活に良い影
響を残すにはどうしたらよいかと悩む
ことがあるかもしれません。

教師の責任を果たすうえで役に立つ、簡単なアイデアを紹介します。

1. 祈りは大切な助けです。レッスン準備のどの段階でも、御霊の導きを謙遜に祈り求めることから始めましょう。すべての教師に与えられている主の約束を信頼し、それに頼りましょう。「御霊は信仰の祈りによってあなたがたに与えられるであろう。」(教義と聖約 42:14)
2. ほとんどのレッスンには、教える時間内で採り上げられる以上の内容が手引きに掲載されています。レッスンを読み、祈りによって、教えるクラスに最適だと感じるおもな原則を一つか二つ選びましょう。
3. レッソンの関連聖句を祈りの気持ちで研究し、そこから例や原則を採り上げましょう。神の言葉は「どのようなことよりも民の心に力強い影響を及ぼし」ます(アルマ 31:5)。

4. レッスンに関するあらゆる知識を持っていないければ効果的に教えられるわけではないので、安心してください。生徒が自分の経験や考えを話せるよう、簡潔な質問を考えておきましょう。レッスンの中で最も感動的で、心に残る時間となるかもしれません。
5. 教師に召されているあなた自身も学ぶよう求められています。福音を教える教師には、「理解を深め、教える技術を高めるための熱心な努力が求められ〔ます〕。……主が命じられた方法で教えるならば、主が皆さんの力を増し加えてくださ〔います〕。』¹

『教師——その大いなる召し』には、教えるためのアイデアがさらに掲載されています。■

注

1. 『教師——その大いなる召し』(1999年), 4

指導者のためのアイデア

教会で奉仕している人は、教師など自分の組織で奉仕する人々が任命を受けるときに必ず同席しましょう。その後、次のことを行うために約束を取りましょう。

1. 新しい召しについて説明する。
2. レッスン手引きや指導者用資料を渡す。
3. 支援と訓練を約束する。
4. 新しく召された会員に感謝と信頼の言葉を述べる。



レッスンを教えることになったら

「わたしなら、1週間前の日曜日にレッスンを読み、祈り始めます。そうすると、丸1週間、祈り、靈感を求め、考え、読み、レッスンを生き生きとしたものにする実生活への応用方法を探することができます。その時点ではレッスンを完成させませんが、1週間の間に、驚くほどいろいろなことを考えついたり、導きを受けてレッスンで使いたいと思う事柄を見つけたりして、準備を整えるのです。」

十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホルランド長老
「教会で教え、学ぶ」
(世界指導者訓練集会、
2007年2月10日)
『リアホナ』2007年6月、
58 参照

神様はほんとうにわたしたちのお父様です

神様は天のお父様、すなわちわたしたちの霊の父親です。神会には、御父のほかにイエス・キリストと聖霊がおられます。御三方はそれぞれ異なる役割を持つ、独立した御方ですが、目的においては一致しておられます。神会に関するこの真理も、ほかの真理と同じように、イエス・キリストと使徒たちの死後に訪れた大背教として知られる時代に失われました。

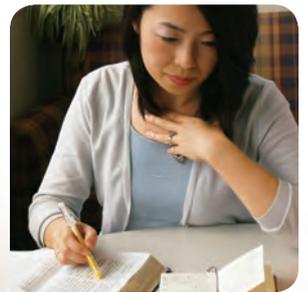
主がこの失われた真理の回復を始められたのは、1820年の春です。14歳のジョセフ・スミスがどの教会に加わるべきか知るために、ニューヨーク州マンチェスターの自宅近くの森で祈ったときでした。祈りがこたえられ、ジョセフは父なる神とイエス・キリストにまみえました。預言者ジョセフ・スミスはこの示現について後にこう記しています。「そのうちの御一方がわたしに語りかけ、わたしの名を呼び、別の御

方を指して、『これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい』と言われた。』(ジョセフ・スミス一歴史1:17)

1832年2月16日、預言者とシドニー・リグドンは啓示を受けました。その啓示の前置きとして、二人はイエス・キリストと父なる神について証言しました。「そして今、小羊^{あかし}についてなされてきた多くの証の後、わたしたちが最後に小羊についてなす証はこれである。すなわち、『小羊は生きておられる。』わたしたちはまことに神の右に小羊を見たからである。また、わたしたちは証する声を聞いた。すなわち、『彼は御父の独り子であ[る。]』(教義と聖約76:22-23)

父なる神について あかし 証する教義

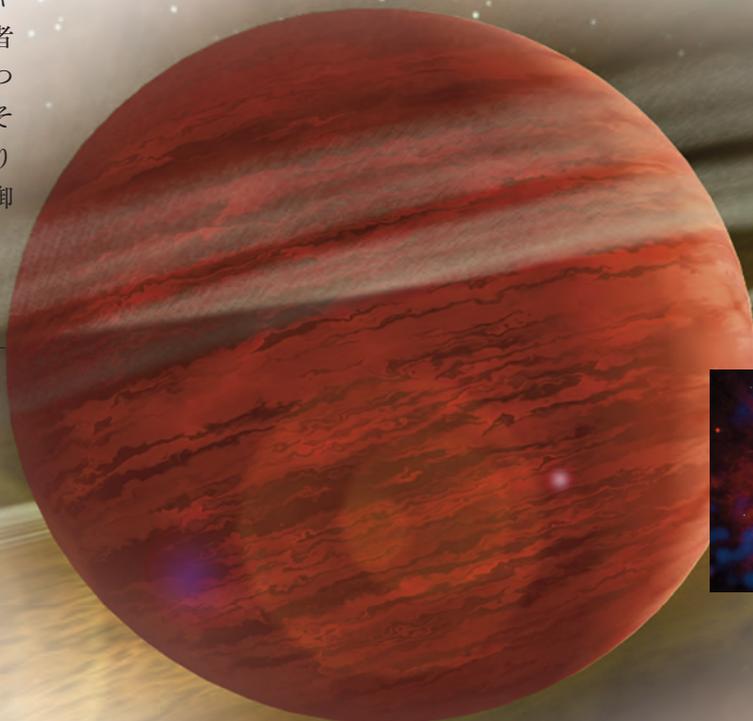
1. 人は神の形にかたどって造られている(モーセ2:26参照)。



天の御父を知る方法

1. 聖文をよく味わう(2ニーファイ32:3参照)。

時間を取って空を眺めてみましょう。空の星や惑星の軌道は「尊厳と力をもって進む神」がましますことを証しています。(教義と聖約88:41-47参照)





信仰は過去の上に
築かれますが、決して
過去にとどまることを
望みません。

信仰とは、神が
わたしたち一人一人のために
偉大な多くのものを
用意しておられことを
信じることです。



最善は

これからだ

将来に目を向けましょう。信仰は常に
将来を指し示していることを忘れないでください。

昔から、新年の初めは過去の状況を振り返りながら人生を見直し、行き先について考える時です。新年の決意について話したいのではなく、人生が転換し変化するあらゆる時を念頭に置いて、過去と将来について話したいと思います。人生が変わる瞬間はほぼ毎日やって来るからです。

この話のテーマとしてわたしが選んだ聖句は、「ロトの妻のことを思い出さない」というルカによる福音書第17章32節です。この短い謎めいた言葉で主は何を伝えようとしたのでしょうか。それを知るには、主が言われたようにしなければなりません。では、ロトの妻とはどのような人物だったのでしょうか。

これはもちろんソドムとゴモラの時代の話です。これ以上ないほどの男女の劣悪な振る舞いをずっと我慢しておられた主は、ロトとその家族に、この二つの町が今にも滅ぼされるので逃げるようにと言われました。主はこう告げられました。「のがれて、自分の命を救いなさい。うしろをふりかえって見てはならない。……山にのがれなさい。そうしなければ、あなたは滅びます。」(創世19:17, 強調付加)

ロトと家族はすぐには従わず、少し交渉をしましたが、最後にはなんとか間一髪で町を出ました。聖文には、彼らが脱出した翌日の夜明けに起こったことが書かれています。

「主は硫黄と火とを主の所すなわち天からソドムとゴモラ

の上に降らせて、

これらの町……を、ことごとく滅ぼされた。」(創世19:24-25)

わたしの話のテーマは次の節に出てきます。「うしろをふりかえって見てはならない」という主の勧告は、ロトの妻の耳に鮮明に残っていましたが、彼女は「うしろを顧み」て、塩の柱になってしまったと記録されています(26節参照)。

ロトの妻の行動の何がそんなにいけないのでしょうか。歴史の研究者として、わたしはこれについて考えてきました。そして不完全ではありますが、わたしなりの答えを紹介します。ロトの妻が犯した間違いは、単に振り返ったことではなく、心に帰りたいと願ったことのように思われます。ソドムとゴモラで手に入れていたものを町の境を越える前から恋しく思っていたのでしょうか。そのような人は、シオンに家を構えなければならないと分かっているながら、バビロンの別荘を手放したがる、と十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老(1926-2004年)が語ったとおりです。¹

ロトの妻は、主に言われて後に残して来たものを惜しんで、主に恨みを抱きながら振り返ったのかもしれませんが、リーハイとその家族がエルサレムを出るようにとの命令を受けたとき、レーマンとレムエルがそれを恨んだことはわたしたちにも明らかです。ですから、彼女はただ振り返ったのではなく、未練があって振り返ったのです。つまり、過去

への執着が将来への確信に勝っていたのです。少なくともそれが彼女の罪の一部だったようです。

将来を指し示す信仰

新年を迎え、わたしたちは過去を正當に評価し、その評価を役立てようとしています。そこで、皆さんにお願いがあります。過去がどんなにすばらしいものであったとしても、そこにとどまったり、いたずらに懐かしがったりしないでください。過去はそこから学ぶものであって、生きる場所ではありません。振り返るのは、燃え尽きて灰となった経験からではなく、まだ熱の残る経験から最高のものを学ぶためです。そうして必要なことを学習し、最高の経験を生かしたら、将来に目を向け、信仰が常に将来を指し示していることを覚えていてください。祝福を受けるとき、真理を悟るとき、これからの人生で思いどおりの結果を出せたとき、そこにはいつも信仰があります。

そこで、ロトの妻についてより宗教的に言うならば、彼女には信仰がなかったということです。今ある以上のものを与えてくださる神の力を疑ったのです。後に残して行くものと同じように良いものが、これから先にあるはずがないと考えたのでしょう。

今となっては住むことのできない世界に戻りたいと願うこと、現在の状況に常に不満であること、将来に憂えてばかりいること、そして、自分ではどうすることもできないことや過去にとらわれすぎて現実の世界と将来を逃していることなどがロトの妻の罪でした。

使徒パウロは生まれ持った権利、教育、ユダヤ人社会での地位など、特権も報いもある前半生を振り返り、キリスト教への改宗に比べればそれはすべて「ふん土」であるとピリピ人に向かって言いました。パウロの言葉を言い換えるようになります。「わたしは『古き良き時代』を懐かしむのはやめた。今は熱い心で将来を見ている。それは『捕えようとして

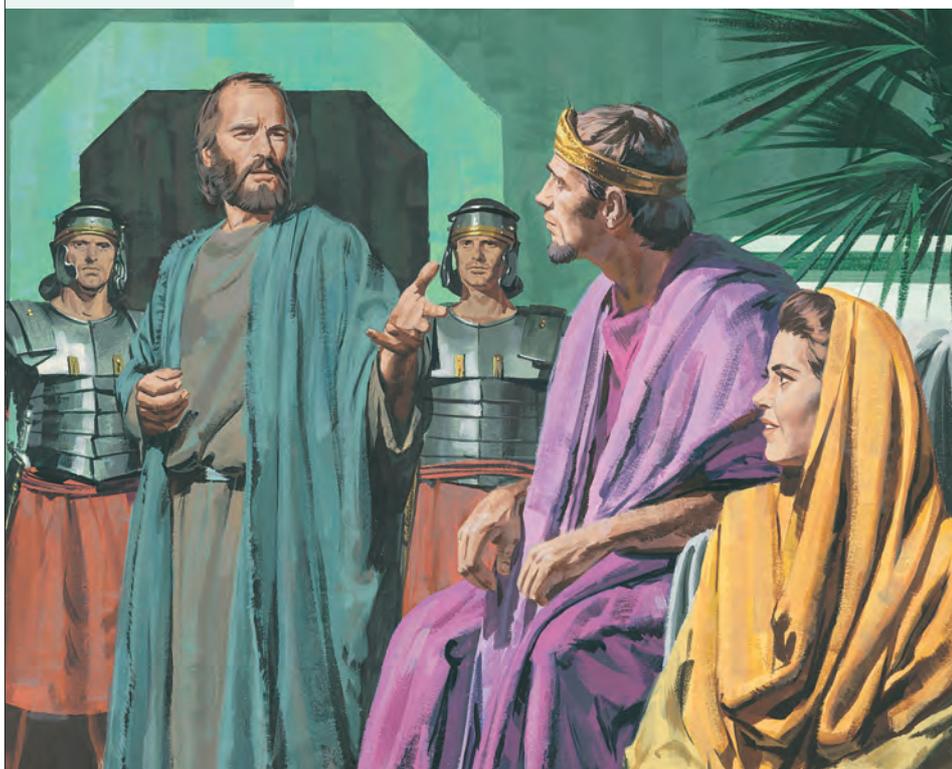
追い求めているのである。そうするのは、キリスト・イエスによって捕えられているからである。』」(ピリピ 3:7-12 参照) そして次の聖句へと続きます。

「ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、

目標をみざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。」(ピリピ 3:13-14)

ここにロトの妻はいません。ソドムとゴモラを振り返ってはいません。「キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与」を勝ち得るのはこれから先の未来であり、天がわたしたちを引き上げてくださる高い所であることをパウロは知っているのです。

パウロはこう教えました。
「ただこの一事を
努めている。
すなわち、後のものを忘れ、
前のものに向かって
からだを伸ばしつつ、
目標をみざして走り、
キリスト・イエスにおいて
上に召して下さる
神の賞与を得ようと
努めているのである。」



過去を水に流す

匿名

わたしが16歳のときです。双子の弟とはとても仲が悪く、何かにつけけんかしていました。ある日学校で彼は、何人もの友人の前でわたしを激しく非難し、攻撃的な言葉で侮辱しました。その行為とひどい言葉は、10代のわたしに耐えられないほどの傷を負わせました。しかも彼は、そのことを両親に問い詰められても、決して謝らなかったのです。そのときの痛みは何年も消えることはありませんでした。

わたしが自分の伝道の召しを受けた

とき、彼はまだ伝道中でした。わたしは神殿に入る準備をしながら、用意ができたと感じるためには何を変える必要があるだろうかと、自分の生活についてじっくりと考え始めました。かつて弟がしたことをあまり考えなくなっていました。それでも彼を赦さなければならぬことに気づきました。

ほかのだれよりもひどくわたしを傷つけたのは彼でした。赦すのは簡単でないことは分かっていました。そこで天の御父の助けを求めて祈りました。

御父の助けを得て、伝道中の弟に欠かさず手紙を書こうと決心しました。こう認めるのも残念なのですが、それまで彼に手紙を書いたことなどまったくなかったのです。それから小包も送りました。わたしが伝道に出たときには、彼は両親と一緒に宣教師訓練センターに来て、わたしを抱き締めてくれました。何度か手紙もくれました。わたしは、たとえ時間がかかるとしても、天の御父の助けによって過去を水に流すことができると知っています。

赦し、そして、忘れる

多くの人の心には、自らが犯した間違いであれ人の間違いであれ、その中でも特に過去の間違いを赦し、忘れることのできない性質を持っています。それは良いことではありません。クリスチャンはそうであってはなりません。偉大で壮大なキリストの贖いに著しく反するものです。過去に固執する行為の中でも最悪なのが過去の過ちにとらわれることであり、それに対してわたしたちは、やめるようにと書かれています。

以前、長年にわたって学校で何かにつけてからかいの対象になっていた若い男性の話を書きました。多少の障がいがあったために、仲間たちにとってからかいやすい存在でした。後に彼は引越して行きました。やがて軍隊に入っ教育を受け、多少の成功を経験して過去から抜け出すことができました。何より、軍人の多くがそうであるように、教会のすばらしさと偉大さを見いだして活発になり、教会員として幸せに過ごしていました。

それから数年たち、少年時代を過ごした町へ帰って来ました。同世代の多くは町を出ていましたが、全員ではありませんでした。大きな成功を収め、すっかり生まれ変わっ

て帰ったのですが、彼を待ち構えていたのは昔と同じ考えだったようです。故郷の人たちにとって、彼はいつまでも「あの例のだれそれ」だったのです。——「障がいのある変わったやつ、変な癖があって、いろいろおかしいことをしていたやつのこと覚えているだろう。笑えたよな。」

パウロのように過去を抜け出して、神が用意しておられる賞をつかもうとしたこの男性の努力もだんだん続かなくなり、亡くなったときは少年時代と同じような状態でした。すっかり元に戻ってしまったのです。再び不活発で、不幸せで、新たなからかいの的となりました。それでも彼の人生には、過去を克服して、自分が何者であるのか、そしてどのような存在になれるのかほんとうに知ることができた明るく美しい時期もあったのです。彼の将来より過去の方がおもしろいと思った大勢のロトの妻たちに再び囲まれたのは、何と不運で悲しいことでしょうか。キリストが彼のために捕らえてくださったものを、彼の手から周りがまんまと奪い去ったのです。自らにはほとんど落ち度がなかったにもかかわらず、彼は悲しみの中で死を迎えました。

同じようなことは、夫婦やその他の人間関係にも起きています。わたしがこれまで相談を受けた数え切れないほど

多くの夫婦が、深く傷つき、あるいはただひどいストレスから、過去を奥へ奥へと探ってはさらに大きなれんがを見つけて相手に投げつけ、結婚を破綻^{はたん}に導いています。すでに終わって解決しているにもかかわらず、そして可能なかぎり十分な悔い改めがなされ、あるべき姿で人生が進み、たくさんのすばらしいことを経験しているにもかかわらず、過去に戻って、神の御子が自らの死によって癒^{いや}して下さった古い傷を開くのは、決して正しいことはありません。

悔い改めの機会を上げましょう。成長させてあげましょう。人は変わることができ、良くなることができると信じてください。それは信仰ですか。そうです。それは希望ですか。そうです。それは慈愛ですか。そうです。何よりもそれは慈愛、すなわちキリストの純粹な愛です。過去に埋めたものは、埋めたままにしておきましょう。小さなスコップを手にも何度もその場所に戻って掘り返し、振り回しては

「ちょっと、これ覚えてるだろう?」と言いながら相手に投げつけてはいけません。

その後どのような結果になると思いますか。恐らく今度は、相手があなたのごみ捨て場から昔の汚い行為を掘り返して「もちろん覚えているさ。じゃあ、君はこれを覚えているか?」と言い返してくるでしょう。

すると、汚れて、泥にまみれて、不幸で、傷つけられたすべての人があつという間に仕返しに転じます。しかし、天の御父が心から願っておられるのは清さ、親切、幸福と癒しなのです。

過去の過ちを含め、過去の生活にとどまることは完全に間違っています。それはイエス・キリストの福音ではありません。幾つかの面でロトの妻よりひどい状況を引き起こします。少なくとも彼女が滅ぼしたのは自分一人だけでした。しかし結婚や家族、ワードや支部、アパートや隣近所という場では多くの人を滅ぼしてしまうことがあるのです。



生きて、
悔い改めと
ゆる
救しの奇跡を、
また信頼と
神の愛の奇跡を
見届けてください。
その奇跡は
あなたの人生を
きょう
今日、明日、
そして永遠に
変えるのです。

この記事から学べること

これから指針となってくれる過去の教訓には、
どのようなものがありますか。

信仰を働かせることで、どのような祝福を受けたいと望んでいますか。

新しい年の初めに当たり、主御自身が行うと言われたことを実行する以上にわたしたちにとって大切な義務はないでしょう。「自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。」(教義と聖約 58:42)

もちろんそこには、悔い改めは心からのものでなければならない、という条件があります。しかし、心から悔い改めて成長しようと誠心誠意努力していながら、だれかの過去の過ちをいつまでも忘れず非難し続けるとしたら、わたしたちはもっと大きな罪を犯すこととなります。そしてだれかとは、自分自身かもしれません。わたしたちはしばしば、他人より自分に対してひどく厳しくなることがあるのです。

さあ、モルモン書のアンタイ・ニーファイ・リーハイ人のように戦争の武器を埋め、埋めたままにしておきましょう(アルマ 24 章参照)。赦してください。そして時には赦すより難しいことをするのは、つまり、忘れることです。それでも思い出してしまったら、また忘れましょう。

最善はこれからだ

過ちは、繰り返さない程度には覚えていてもいいですが、それ以外は全部、パウロがピリピ人に語った「ふん土」に捨ててください。有害なものは忘れて、キリストの贖いの真髄があなたとあなたの家族、友人、隣人の輝かしい未来を示すまで、忘れ続けてください。神はあなたの現在の様子と、あなたが神の助けを得ながら目指そうとすることについて気にかけておられますが、あなたの過去についてはほとんど気にしておられません。ロトの妻はこれを理解していませんでした。レーマンもレムエルも、また聖文に出てくる多くの人もそうでした。

これは、新しい年の初めによく考えなければならない大切な事柄です。また、これからは毎日を新しい年、新しい人

生の最初の日とすべきです。これが信仰と悔い改め、イエス・キリストの福音の奇跡のすばらしいところです。

詩人のロバート・ブラウニングはこう書いています。

老いゆけよ、我と共に!

最善は これからだ。

人生の最後、そのために最初も造られたのだ。

我らの時は、御手の中にあり

神言い給う「全てを私が計画した。」

青年はただ その半ばを示すのみ。神に委ねよ。全てを見よ しかして恐れるな!」と。²

次のようなことを心配している人もいるでしょう。わたしに未来はあるのだろうか。新しい年、新しい学期、新しい専門教科、新しい恋、新しい仕事、新しい住まい。これらはわたしに何をもたらしてくれるのだろうか。安全に暮らせるだろうか。穏やかな人生だろうか。主を、そして将来を信頼できるだろうか。それとも過去を振り返り、昔に戻って、ここにとどまった方がいいのだろうか。

このようなことを心配しているあらゆる世代の人に、「ロトの妻のことを思い出さない」とわたしは声を大にして言います。信仰は将来のためにあります。信仰は過去の上に築かれますが、決して過去にとどまることを望みません。信仰とは、神がわたしたち一人一人のために多くの偉大なものを用意しておられ、また、キリストは真に「祝福の大祭司」であられることを信じることです(ヘブル 9:11)。

どれほど遠く離れていようと、夢から注意をそらせてはなりません。生きて、悔い改めと赦しの奇跡を、また信頼と神の愛の奇跡を見届けてください。その奇跡はあなたの人生を今日、明日、そして永遠に変えるのです。それが新年の決意です。どうかその決意を持ち続けてください。■

2009年1月13日、ブリガム・ヤング大学ディボーションナルでの説教の抜粋。英語による全文は、<http://speeches.byu.edu>に掲載されています。

注

1. ニール・A・マックスウェル, *A Wonderful Flood of Light* (1990年), 47 参照
2. ロバート・ブラウニング, "Rabbi Ben Ezra" (1864年), 1 節。『手島郁郎英詩講和——老いゆけよ、我と共に—— R・ブラウニングのラビ・ベン・エズラに寄せて』キリスト聖書塾(1996年), 9, 読み仮名付加



Gospel Principles

They shall come to the knowledge of their Redeemer
and the very points of his doctrine, that they
may know how to come unto him and be saved.
1 Nephi 15:14





新しい

『福音の原則』

の手引き

19 98年以降、メルキゼデク神権と扶助協会のクラスでは、レッスン用手引きとして『歴代大管長の教え』（以後『教え』）を使用しています。各手引きはわたしたちの愛する預言者一人一人の生涯と教えに焦点を当てています。この素晴らしい書物は、世界中の会員が教会の偉大な指導者と彼らの教えた驚くべき教義を知り、愛するようになるうえで、とても貴重な資料となっています。掲載されている説教が初めて語られたときと同様に、預言者の勧告は今なおわたしたちの心を鼓舞し、時宜にかな適った助けを与えてくれています。主の忠実な僕たちが語った靈感あふれる言葉を皆さんがこれからも活用し続けるようにと願っています。彼らの教えは時代を超えたものだからです。

2010年から2年間、このシリーズの手引きを用いた学習を休止します。代わって、毎月の第2、第3日曜日のメルキゼデク神権と扶助協会のクラスでは、新たに改訂された『福音の原則』の手引きを学ぶことになります。当然のことながら、会員の皆さんは、なぜ変更になったのか、また、どんな影響があるのかと疑問に思うかもしれません。以下は皆さんの心に浮かぶであろう質問とそれに対する答えです。

教科課程が変わるのはなぜでしょうか

『教え』を初めて使用するようになってから、何百万もの人が教会に加わりました。その多くは証があかし壊れやすく、教会での経験が比較的浅いため、手引きの焦点を福音の基礎に当てることは大いに有益です。さら

この素晴らしい書物は教会のクラスだけでなく各家庭の蔵書にも加えられる貴重な一冊となることでしょう。

に、すべての教会員にとっても、基本に戻ることは助けとなります。

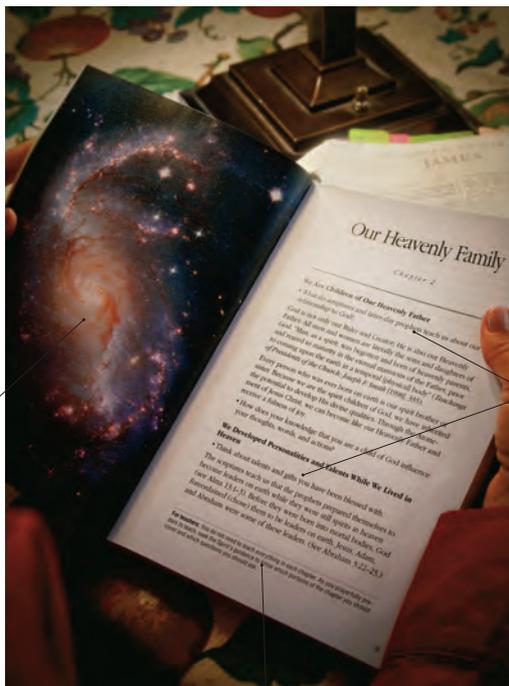
『教え』シリーズはすばらしい教科課程であり、個人の蔵書に加えることのできる貴重な書物となっています。2012年には偉大な大管長たちの教えを再び学習する予定です。

新しい『福音の原則』の手引きはカラー写真や絵も特徴となっています。

わたしにはどのような影響があるのでしょうか

『福音の原則』は、第2、第3日曜日にメルキゼデク神権と扶助協会のクラスの教科課程用手引きとして使用します。新会員、求道者、および教会に戻って来た会員を対象とする日曜学校の福音の基礎クラスでも同じ手引きを使用します。そのため、皆さんの中には、重複することはないだろうかといぶかる人がいるかもしれません。もちろん重複することはあります。繰り返すことで一層の恩恵にあずかれるのはすばらしいことではないでしょうか。救い主でさえ概念を強調するために同じ教義を何度も繰り返し教えられました。信じてバプテスマを受けるように、救い主が聖典の至る所でいったい何度わたしたちに教えられたか考えてみてください（例えば、3 ニーファイ 11:23 - 38 参照）。

わたしたちは教えに教え、訓戒に訓戒を加えられて原則を学ぶ必要があります。それを知っておられるからこそ、主はわたしたちが原則を見失うことがないように、多くの概念を繰り返し教えられるのです（イザヤ 28:10, 13; 2 ニーファイ 28:30; 教義と聖約 98:12; 128:21 参照）。クラスの生徒の福利に関心を持つ、思いやりのある教師がそのような教え方をすれば、生徒も主イエス・キリストを信



各章にある教師への提案を活用すると、教師は熱心に学ぶよう聖徒に勧め、御霊によって教えられるようになります。

じる信仰を深めることができるでしょう。

しかし実際には、レッスン内容が重なることはありません。メルキゼデク神権と扶助協会のクラスは、通常、第2日曜日と第3日曜日、つまり

各項の始めには示唆に富んだ質問や言葉が用意され、それによって個人学習を進め、クラスでの討論を深めることとなります。

これまでの『教え』とまったく同様、月に2回のペースで手引きを使用します。レッスンは順番どおりに進み、2年間で『福音の原則』の手引きを修了します。一方、日曜学校の福音の原則クラスのために準備する教師は、毎週、クラスに参加する人の必要に合わせてレッスンを組み立てます。一

般的に言えば、新会員、求道者、教会に戻って来た会員は、ある一定の期間のみ福音の原則クラスに参加します。自分で決めた期間、あるいはビショップや支部会長が決めた期間が終われば、日曜学校福音の教義クラスに出席することになります。

『教え』と同様に、新しい手引きは無料で手に入ります。各ワードまたは支部は会員のために必要なだけ手引きを準備します。

世界の一部の地域では、メルキゼデク神権と扶助協会のクラスで、『教え』の代わりに『神権の義務と祝福』および『末日聖徒の女性』を使用しています。新版の『福音の原則』の手引きは45言語で出版され、そのようなユニットでも2010年から2011年にかけて入手できるようになります。しかし、新しい手引きが手に入らない所では、旧版の『福音の原則』の手引きを使うこととなります。

『福音の原則』の手引きはどのように変わったのですか

『福音の原則』の手引きが最初に出版されたのは30年以上前のことです。日曜学校のレッスン、福音の基本原則を新会員に教えるため、また家庭用の重要な資料として幅広く用いられてきました。しかし、幹部の兄弟たちは既存の手引きに改善を加えて新しい息吹を吹き込むことができると感じました。その結果、すばらしい書物が生まれました。これは教会のクラスだけでなく各家庭の蔵書にも加えられる貴重な一冊となることでしょう。

新版はデザインや内容に幾つかの重要な特徴があります。

1. デザイン

新版はサイズが大きくなり、『教え』シリーズと同じような新しい表紙が付きます。また、中身のレイアウトも新しくなり、読みやすくなります。視覚教材はカラー印刷となります。このすべての要素が相まって、目で追うだけでも楽しく、個人学習もいっそう進むことでしょう。

2. 内容

原文は改訂され、個人学習や教師の準備、クラスでの討論にさらに役立つ手引きとなっています。個人学習の一助として、引用文や出典表示の多くが更新されました。これまで出版されてきた『教え』シリーズに関連付けるためです。こうすることで『福音の原則』の手引きに引用されている預言者の教えからより深く学ぶことができます。これらの手引きを統合することで、クラスでも家庭でも学習をいっそう充実させることができるようになります。

3. 教えることと学ぶことに対する提案

各章には教師が教え方を改善するのに役立つアイデアが紹介されています。このアイデアは、より良い教師となるための資料『教師、その大いなる召し』に記されている確固とした教授原則に基づくものです。その目的とするとこ



新しい『福音の原則』

の手引きは、個人学習に役立つだけでなく、家庭やクラスにおいて効果的に教えられるよう意図されています。

新しい『福音の原則』の手引きをインターネット上の GospelPrinciples.lds.org で検索してください。

ろは、教師が生徒を愛し、熱心に学ぼう生徒を励まし、御霊によって教義を教えられるように助けることです。

さらに、各章の各項の初めにある質問は、討論を盛り上げ、その章の扱っている内容に生徒が心を向ける助けとなることでしょう。各項の後にある質問は、生徒が熟考し、話し合い、読んだことを応用するのに役立ちます。

時代を超えた書物

新しい『福音の原則』の手引きが、すべての末日聖徒の家庭と生活において重要な位置を占めるようになること、それがわたしたちの望みです。新版は教える立場にある人々に靈感を与え、効果的な個人学習をいっそう深めてくれます。兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストの福音の中心となる教義をさらに熱心に研究してください。そうすれば、皆さんの証は強められ、さらに幸福になり、人生で受ける主の恵みはさらに豊かになることでしょう。■



1 信仰と個人の義を増し加える

第1日曜日のレッスンは、聖文に心を向け、末日の様々な問題に対処するうえで助けとなる教義を理解する機会となります。



扶助協会

の働きについて学ぶ

わ

たしたち会長会が最初に召されたとき、扶助協会の歴史に関する資料を渡されました。長い年月をかけて集められた資料です。

わたしたちは祈りの気持ちで研究しました。扶助協会の目的は何か、主はわたしたちのこの会長会に、何をしよう望んでおられるのか知りたいと思ったのです。

歴史資料を注意深く学べば学ぶほど、主によって設立された扶助協会の目的が、永遠の命の祝福を受ける備えができるように、主の娘たちを組織し、教え、鼓舞することであるということが分かってきました。扶助協会は末日聖徒の女性の生活のあらゆる面にかかわっています。姉妹たちは、様々な活動、家庭訪問、奉仕、そして日曜日のレッスンを通して教えと靈感を受けます。毎週日曜日、扶助協会で目指すのは、姉妹たちがそこで自分たちの目的を達成する助けとなる教義と原則を学ぶことです。日曜日のレッスンを受けた姉妹たちはそれぞれの家族や家庭にあってもっと強い確信を胸に福音に従った生活が送れるようになるはずで

第1日曜日はほかとは異なっています

月の第2、第3、第4日曜日には、永遠の命という祝福に通ずる道を学ぶために『福音の原則』と総大会の教えを研究します。しかし、第1日曜日には、扶助協会会長会の一員が姉妹たちを教え、導き、どのようにすれば扶助協会の姉妹として神聖な責任を果たすことができるか話し合います。

わたしたち末日聖徒の女性は、イエス・キリストの回復された福音が与えられています。また、救いの計画に対する^{あかし}証があります。わたしたちは女性として、この救いの計画の半分の責任を担っています。ほかの人に任せることはできないのです。わたしたちは主の前に自らの義務を果たす責任があります。月の第1日曜日は、責任の果たし方を学べるように、主がわたしたち扶助協会の姉妹に下さった、時間という賜物です。

わたしは姉妹たちがこの時間という賜物を使って、扶助協会の会員に与えられた生涯にわたる以下の3つの責任を果たせると望んでいます。(1)信仰と個人の義を増し加える、(2)家族と家庭を強める、(3)援助を必要とする人々を探し出し、助ける。

わたしは、わたしたちが聖文と認可された教会の資料に心を向け、その中に、今述

月の第1日曜日には、扶助協会会長会の指導によって、どのようにすれば扶助協会の姉妹として神聖な責任を果たすことができるか話し合います。

2 家族と 家庭を強める

月の第1日曜日には、
家族を支え、養い、
守る方法を
学ぶことができます。



責任を受け入れ、強くある



「**ク**ラスで教えたり、人々の前で話したりするのが怖いと言う姉妹もいます。わたしもこれまでの経験から、怖いと覚えることがあることをよく知っています。そのようなときは、エライザ・R・スノーがかつて自分のめいに語った言葉を思い出しましょう。人前で話すように頼まれた彼女は立ち上がりましたが、怖くなって何も言えず、とうとう座ってしまいました。エライザは優しく、そして穏やかにこう助言しました。『大丈夫よ。でも、今度話すように頼まれたら、何か話せるようにしましょうね。』……」

あるすばらしい扶助協会の集会の議事録で、エライザ・R・スノーはこう記しました。『その場にいたほとんどが立って話をした。主の御霊が、清めの水のように全員の心を新たにしてくれた。』今日の姉妹たちも、日曜日のレッスンに出席し、家庭訪問に行き、活動に参加し、または奉仕の業に携わる度に、養われ、教化され、高められたと感じられるように願っています。

姉妹の皆さん。今ほど、女性が責任を受け入れ、強くあるよう求められている時はありません。力と信仰をもって雄々しく真理を宣言する女性が必要です。義の模範を示す女性が必要です。『熱心に善いことに携わる』女性が必要です(教義と聖約58:27)。天の御父と救い主イエス・キリストを愛し、御二方から求められることを行うという意志が、わたしたちの生活に表れているようにする必要があります。神の娘として自分の務めを果たし、神の王国を築けるように、『わたしたちの〕心の奥深くに眠っている最も優れたものをすべて』解き放つ必要があるのです。そのためには助けも与えられます。ジョセフ・スミスはこう宣言しています。『もし与えられている特権にふさわしく生きるなら、天使は皆さんの友とならずにはいられないでしょう。』

中央扶助協会会長会第二顧問 バーバラ・トンソン
「さあ、喜びましょう」『リアホナ』2008年11月号、115、116

べた3つの責任を果たし、末日の問題への対処法を理解するうえで役立つ模範、原則、教義を見いだせるようにと望んでいます。扶助協会初代会長であるエマ・ヘイル・スミスは「わたしの御霊により知らされるままに、聖文を説き明かし、教会員に説き勧める」ように命じられました(教義と聖約25:7)。わたしたちも彼女の模範に倣うことができます。

第1日曜日の扶助協会集会でそのことを実行するとしましょう。わたしならまず初めに、祈りの気持ちで自分たちは何を学べばよいかを決めます。次に聖文を調べ、聖文がそのテーマについてどんなことを教えているかを見いだします。預言者や教会の指導者がこれまでどのようなことを教えてきたか学びます。それから御霊の導きを求め、第1日曜日の集会でともに学ぶときに使えるように、話し合いのための質問を幾つか書き留めます。そして姉妹たちが強められて家に帰り、同じ方法を用いて、家庭で学んだり、家族に教えたりすることができるように願います。

信仰と個人の義を増し加える

わたしの祖母イザベル・ボーデン・バンガーター姉妹は、信仰の篤い女性として知られていました。幼いころから自分の信仰を抱き、生涯にわたってその信仰を深めようと努力しました。何年もの間、扶助協会では、神学者、言い替えれば福音を熟知し、聖文に基づいて教えられる女性として有名でした。97歳で亡くなるまで聖文を学び続けたのです。祖母は、自らの永遠の役割や責任が何であるかはっきりと自覚していました。わたしがまだ若い母親だったころ、邪悪に満ちた世界で義にかなった子孫を育てることは可能かどうか祖母に尋ねました。彼女は立ち上がって、わたしを指差し、こう断言しました。「できます。そうしなければなりません。あなたがここにいるのは

そのためです。」わたしは祖母のこの教えから靈感を受け、自分の責任をさらに強く自覚し、もっと深い信仰をもって人生に取り組めるようになりました。こうした具体的で靈感に満ちたレッスンを扶助協会では毎週教えることも可能なのです。

どうすればこの現世で経験することを通して、信仰に満ちた生活を送ることができるのか、姉妹たちは悩むことがよくあります。月の第1日曜日は、それぞれの扶助協会に存在する信仰を一つに結び合わせる良い機会になります。姉妹たちの知恵を結集することで、現実の問題に答えを見だし、靈感に満ちた答えを提供することもできるのです。

以下は、わたしたちの信仰と義を増し加えるための一助として、第1日曜日に学べることの例です。

- 聖約を交わし、守る。
- 神殿推薦状にふさわしい生活を送り、神殿で礼拝する。
- 聖霊の導きを受けられるような生活を送り、その導きに気づき、従う。
- イエス・キリストの福音を教え、擁護する。
- 心を込めて個人の祈り、家族の祈りをささげる。
- 家庭の夕べを開く。
- 自立と賢明な生活の原則を実行に移す。

家族と家庭を強める

わたしがまだ扶助協会の若い姉妹だったころ、母親教育クラスが月に1回開かれていました。わたしの母は母親として経験豊富でした。しかし、それでもなお、わたしは扶助協会の教師から、より良い母親となり、より良い家庭を築くための方法を学びました。ホームメイキングの原則や技術を学び、より良い親になる方法やさらには結婚のきずなを強める方法を学びました。



神殿の祝福

「**神**殿の祝福を受け、わたしの身に付けるために必要なことは何でも行[てください]。……」

……家族を永遠に結び固めるために神殿に行きましょう。状況が許すかぎり頻繁に参入しましょう。亡くなった親族が昇栄に必要な儀式を受ける機会を得られるようにしましょう。神殿に定期的に参入することによって受けられる、霊的な強さと啓示を味わいましょう。忠実であり、神殿の聖約を交わし守ることによって、贖いの全き祝福を受けましょう。」

中央扶助協会会長会
第一顧問
シルビア・H・オールレッド
「聖なる神殿、神聖な聖約」
「リアホナ」2008年11月号
号、114

3 援助を 必要とする人々を 探し出し、助ける

わたしたちは助けの手、
すなわち貧困、病気、
疑い、無知など、
女性の喜びと進歩を
妨げるあらゆるものから
解放する
助けの手を差し伸べる
責任があります。

若い母親から、扶助協会でもう一度母親教育のクラスはできないのかと尋ねられることがよくあります。もちろん可能です。毎月の第1日曜日には、家族を支え、養い、守る方法について学ぶことができます。

以下は、家族と家庭を強めるための一助として、第1日曜日に学べることの例です。

- 女性の神聖な役割を理解し、擁護する。
- 神権の祝福にあずかる。
- 永遠の家族を築く。
- 安定した結婚生活を送る。
- 子供を産み、育てる。
- 家族一人一人への愛を表し、家族を養う。
- 義になかった末日聖徒の若者を育てるという責任を引き受ける。

- 家族に関する教義を知り、実践し、擁護する。
- 親族の情報を調べ、身代わりとして神殿の儀式を行う。

援助を必要とする人を探し出し、助ける

第1日曜日のレッスンは、強め合い、人生の難しい問題に解決法を見いだす機会です。どんなときであっても、どの扶助協会にも、試しに遭い落胆している姉妹が大勢います。十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は、各ワードの扶助協会を「姉妹の輪」と呼び、こう語りました。

「その輪のどこに立っていようと、姉妹の皆さん一人一人は、両側を見、どこに立っていようと、その人に真心からの愛の手を差し伸べる時、靈感の霊が戻って来るのを感じる事ができるのです。……

……皆さん〔は〕自分たちの組織、自分たちの大義、すなわち扶助協会のために働くで



しょう。皆さんの必要はすべて、今も永遠にわたっても満たされ、怠惰はすべて一掃され、誤用や乱用はすべて正されるでしょう。これらはすべて、皆さんが自らを扶助協会にささげるときに速やかに成就するのです。』¹

経験から言えることですが、あらゆるワードの扶助協会は、必要な援助を提供し合う力があります。聖霊の助けを求め、受けるならば、どの姉妹の輪であれ、すべての答えを見いだすことができるのです。

わたしたちには助けの手、すなわち貧困、病氣、疑い、無知など、女性の喜びと進歩を妨げるあらゆるものから解放する助けの手を差し伸べる責任があります。扶助協会はこれまでいつも周りの人に助けの手を差し伸べてきました。

わたしたちは末日に生きているがゆえに、個人としても家族としても多くの難しい問題に直面しています。そのような問題として、虐待、依存症、無気力、負債、うつ、不従順、失業、家族の崩壊、病氣、迫害、貧困、そして暴力があります。これとまったく同じようなことを、使徒パウロはテモテへの第二の手紙第3章1節から7節、13節で預言しています。しかし恐れる必要はありません。イエス・キリストの福音があるからです。使徒パウロは次のような解決策も教えています。

「しかし、あなたは、自分が学んで確信しているところに、いつもとどまっていなさい。あなたは、それをだれから学んだか知っており、

また幼い時から、聖書に親しみ、それが、キリスト・イエスに対する信仰によって救^{すくい}に至る知恵を、あなたに与える書物であることを知っている。

聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。」(2テモテ3:14-16)

第1日曜日、扶助協会会長会の一員は、扶助協会の業を個人個人に当てはめることができます。ワードまたは支部が抱えている特定

第1日曜日のレッスン用資料

- 聖文
- 末日の預言者の教え
- 『リアホナ』
- 『すべての必要なものを用意しなさい 財政管理』と『すべての必要なものを用意しなさい 家庭貯蔵』(パンフレット, カタログ番号: 04007 300, 04008 300)
- 『若人の強さのために』(小冊子, カタログ番号: 36550 300)
- 『家族ガイドブック』と『良い親になるために』(小冊子, カタログ番号: 31180 300, 35865 300)
- 『結婚と家族関係』(日曜学校教師用引き, カタログ番号: 35865 300)
- 『わたしの福音を² 宣べ伝えなさい』(宣教師ガイド, カタログ番号: 36617 300)



の必要に対する解決策として慈善奉仕に焦点を当てることができるのです。周りの人の必要に気づいたら、その必要に対処できる訪問教師となれるように姉妹たちを訓練することができます。また適切なら、援助が必要な特定の人を助けるために割り当てをすることもできます。

第1日曜日を活用する

扶助協会の指導者が聖霊の助けを求めるならば、第1日曜日の扶助協会集会で何を学び、何を教えればよいのかということについて靈感を受けられるとわたしは信じています。主の業は全世界に広がり続け、大いに発展すると確信しています。それは教会の善良な女性たちがまずは自分たちの家庭や家族の中で、さらには友人、知人という周囲の輪の中で、能力の限りを尽くしてこの業を推し進めるからにほかなりません。■

注

1. ボイド・K・バッカー「姉妹の輪」『聖徒の道』1981年4月号、210、211参照



山を形成する

山の案内人と山のたとえ

教会機関誌

アダム・C・オルソン

台湾にある、玉山国立公園の旅行案内人として働く陳玉釗(リチャード)は、しばしば大切な旅行客に付き添って公園を案内することがあります。彼らのお目当てを尋ねると、たいてい標高12,966フィート(3,952 m)の北東アジア最高峰、玉山(翡翠山)の頂上に登ることです。

リチャードは自然を愛し、玉山の美しさと荘厳さに魅了されています。しかし、彼は経験を通して重要なことを学び、それを旅行客と分かち合おうと努めています。すなわち、頂上からの壮大な眺めに込められた真の価値を知りたいければ、まずふもとの景色を見る必要があるということです。

人手によって作られた道を歩き、すばらしい景色を味わいながら山頂に到達することは、偉大な経験です。しかしリチャードは、近づくことが困難な渓谷の方が、多くを学び、知られざる美しさに出会うことができると説明しています。

「上を理解するには、下を経験しなければなりません」と彼は言います。「過程を理解しなければ、最終地点の良さが分かるはずがありません。」

それを聞いて納得する旅行客もいます。ですがほとんどの人たちは、ただ山頂に行きたいばかりで、しかもいちばん簡単な方法を望んでいます。

リチャードはそういった人たちの態度に、何かしら霊的な象徴があるように感じています。

彼が言うように、人生経験における究極の目標は神のみもとへ戻ることです。(アルマ12:24参照) 多くの人々がその目的地の価値を理解する一方で、それが神とともに住むことであると理解しない人もいます。それでもわたしたちは、神のようになる必要があります。(1ヨハネ3:2;3ニコライ27:27;モロナイ7:48参照) また、迅速で容易にその頂へ行ける道などないのです。

真の案内人

リチャードは、旅行客が目的もなく歩くことを望んではいません。何かを経験してほしいのです。しかし、どれだけのことを教えられるかは、旅行客の願望の度合いにかかっています。

「自然を満喫したい人であれば、ほかの人たちがめったに見ることのない場所へ案内することができます。その経験は普通のコースに比べて大変かもしれませんが、ずっと密度の濃いものです」とリチャードは言います。

リチャードは人生も同様で、自分の個人的な経験は、この原則を如実に表していると感じています。彼は大学時代に、人生のほんとうの目的を探し始めました。幾つもの教会へ足を運びましたが、求めるものは見つかりませんでした。——宣教師に出会ったのはそんなときでした。

しかし、両親はリチャードが教会へ入ることに強く反対しました。一人息子が家族の宗教を捨てることを不安に思いましたし、自分たちの



「頂上を理解するには、谷底を経験しなければなりません」と、リチャード陳は言います。(左、太魯閣国立公園にて)

陳兄弟は翡翠山(上)がある玉山国立公園で働いています。





陳兄弟に付き従って
溪谷(上)を
経験する人は、
山々を形成する
強力な地殻エネルギー
について学びます。
すなわち、
人が神のもとへ
戻るためには
忍耐しなければならない
という精練の業に
匹敵する過程です。



来世についても心配でした。台湾では、多くの人が来世の状態は、生存している子孫の先祖崇拜に大きく左右されると信じているからです。

リチャードは両親の反対に葛藤したものの、救い主についての証と、救い主^{あかし}に従う必要性についての証を得ました。

「イエス・キリストは道です。キリストは御父のみもとへ戻る真の案内人なのです」と彼は言います(ヨハネ14:6参照)。

リチャードは、救い主に従ってバプテスマを受けることを選びました。主が彼を正しい道に、たとえそれがより困難に見えても、導いてくださると信頼していたからです。

バプテスマを受けてから1週間後、リチャードは台湾で最も大きな放送局の、ラジオニュースレポーターの職に恵まれました。息子が良

い職に就けたことで両親は喜び、その目に映る息子の良い変化もあって、ぎくしゃくした親子関係は修復へ向かいました。その就職を通してリチャードは、信仰を強め、重要な教訓を学ぶことにもなりました。

「イエス・キリストに従わないなら、わたしたちに必要なたくさんの大切な経験を逃すことになるでしょう」とリチャードは言います。これらの経験はより困難なものかもしれませんが、しかし、わたしたちの益となるために必要なのです(2ニーファイ2:2;教義と聖約122:7参照)。

山はどのようにして形成されるのか

リチャードに従い、彼のこよなく愛する溪谷を歩いて行く人ならだれでも間違いなく、台湾の山々と切り立った東海岸は、地殻の二つのプレートがぶつかり合って形成されたことを学ぶでしょう。その膨大なエネルギーから発生した強烈な熱と圧力は、堆積層をまず石灰岩へ、それから大理石へと変えました(この大理石のおかげで、現在の東海岸は名勝地となっています)。この見えない力によって地は振動し、摩擦を繰り返し、ねじ曲げられた結果、天空へそびえ立つ山脈が作り出されたのです。

リチャードは玉山や、それより前に働いていた太魯閣国立公園の中で、どのようにして自然の力が地殻を押し上げて台湾を形成したのか、

好んでその^{こんせき}痕跡を説明しています。

「いちばん高い所にある岩石には砂紋が残っています。また海底化石や、今は頂上にあるものがかつては海底にあったことを示す証拠がほかにもあります。」リチャードは続けます。「頂上を理解したければ、底の部分を理解する必要があります。なぜなら、頂上はそこから始まっているからです。」

リチャードがこのことを重要視しているのは、それが人生の目的に似ているからです。困難なときのわたしたちは、単に山の訪問者というよりも、むしろ山そのものにたとえられます。巨大な力と圧力にもまれるとき、それを忍耐と信仰によって耐えるならば、天へと押し上げられ、山が形造られるのです（モーサヤ 23: 21 - 22; 教義と聖約 121: 7 - 8 参照）。

自分という山を形成する

自己の経験を通してリチャードが学んだことは、この世から抜きこんで、内に秘めた最高の自分に到達するには、厄介で、時には苦痛を伴う経験を引き受けなければならないということです。

ラジオレポーターとして、リチャードは相当なプレッシャーを感じながら、短い締め切りで幅広い話題を取材しなければなりません。すぐに分かったことは、つきあいの飲酒が多くレポーターの重要な情報源になっているということでした。しかし、リチャードはそれを断わっていたので、仕事はますます困難になっていきました。

新しい仕事を探そうと思ったとき、心が平安になるのを覚えました。それで苦難から解放された訳ではありませんでした。改宗してからはラジオの仕事が、親子間の荒波を静める役割を果たしていたのですが、高給で一流企業の正規雇用から、パートタイムの契約社員である案内人に代わったとき、両親はしばらくの間がっかりしていました。

それはまた別の困難な選択肢でしたが、リチャードは後悔しませんでした。なぜなら、その選択によって「高い所に上げられる」ことを知っており（教義と聖約 121: 7 - 8 参照）、そのためにはまず低いところを経験する必要がありますから（教義と聖約 122: 5 - 7 参照）。



天へ戻るために必要な成長

「人 生には……苦難を避けて信仰を深める道はないのです。……」

そこでわたしたちは、次のように言って何事も無い平穩無事な人生を期待できるでしょうか。『主よ、経験を授けてください。けれども悲しみや苦しみ、対立や裏切り、そして見捨てられるような経験はもちろん要りません。主が主となられるために味わわれたような経験はすべてわたしから遠ざけてください。そして、主のみもとにあって主とともに主の喜びを味わわせてください。』……

必要ではあっても確かにつらいこの成長の過程に耐えるためには、……真実の信仰が必要です。」

十二使徒定員会 ニール・A・マックスウェル長老（1926 - 2004 年）
「弱り果てて意気そうしないために」『聖徒の道』1991 年 7 月号, 90, 92

リチャードは言います。「わたしたちは幸運ばかりを欲して、不運を避けようとするあまり、神がわたしたちに期待しておられる姿を自ら小さくしてしまっているときがあります。」

主に従ったおかげでリチャードは、新しい仕事を、喜びを感じました。主に従ったおかげで彼は伝道に出ました。主に従ったおかげで彼は将来の妻と巡り会い、今では 4 人の美しい子供たちに恵まれています。試練はあっても、祝福に終止符が打たれることはありませんでした。

キリストの弟子となり、「高い所」に住まわれる方（教義と聖約 1: 1）のもとへ行くには「低い谷の道」（2 ニーフай 4: 32）ばかりか、ときには「死の陰の谷」（詩篇 23: 4）を歩むことさえあります。しかし、リチャードは「キリストの御言葉の示す道をたどるならば、この悲しみの谷を越えてはるかに良い約束の地へわたしたちを導き入れてくれるのである」（アルマ 37: 45）という約束に平安を得ています。すなわち、至高の喜びを得るには、その備えである人生のチャレンジを経験しなければならないということに確信を得ているのです。■



この話の詳細については、
太魯閣国立公園の
フォト・ギャラリー
を含め、
liahona.lds.org を
参照してください。



十二使徒定員会会長
ボイド・K・
パッカー会長

主の方法

によって
情緒面の問題を解決する

教会のビショップは、衣食住の問題よりも情緒面の問題で教会員にカウンセリングを行うことが年々増えてきています。

そこでわたしは今日、情緒面の問題を主の方法によって解決するというテーマでお話したいと思います。

幸いなことに、物的福祉の原則が情緒面の問題にも応用できます。……

自立の原則

『福祉の手引き』には次のように記されています。「能力のかぎり自立することを教会員につとめて教え、勧めるべきである。真実の末日聖徒は……自立の責任を自分から避けることはしない。全能者の靈感と自らの労働によって、できるかぎり生活必需品を自給するであろう。」(1952年版, 2) ……

わたしたちは末日聖徒に、自分たちの生活必需品の自給

を図ることと、それができない人々のために福祉的援助を行うことを教えてきましたが、それにはかなりの成功を収めています。

例えば、自分自身で生計を維持できない教会員は、まず自分の家族に援助を求め、家族が援助できなければ、次に教会に求めます。……

……働く能力がありながら自立を図ろうとしない人々には、怠惰な者は働く者のパンを食べてはならないという主の御言葉を適用しなければなりません。(教義と聖約 42: 42 参照)

自立については単純なルールがありますが、真理に関する次の格言はその見本とも言えるでしょう。「食べ尽くし、使い古し、それで間に合わせよ。さもなければなして済ませること。」

教会福祉プログラムが1936年に初めて発表されたとき、大管長会は次のように語りました。

……教会の目的は、人々の自立を助けることにあります。……(Conference Report, 1936年10月, 3。斜体付加)

これは安易な施しの制度ではありません。自立の制度です。外部から援助する前に、本人と家族の経済状況をすべて詳細に調べる必要があります。

教会福祉から受ける援助に対して、精いっぱい労働による返済をするよう教会員に求めるビショップは、不親切でも冷酷でもありません。

教会から援助を受ける教会員は、もしも最善を尽くしているならば、後ろめたさを露ほども感じる必要はありません。……

わたしは、その同じ——自立——の原則が霊的、情緒面にも当てはまるということを伝えたいと思います。……

注意を怠ると、これまで長年物質面で避けようとしてきた災いを、情緒面で(とりもなおさず霊的面で)引き起こしてしまう恐れがあります。

カウンセリング

ごく普通の風邪がどんな病気よりも人の体力を消耗させるのに似て、現在教会内に霊的な力を消耗させる「カウンセリング病」が流行し始めているように思われます。

比喩的な言い方になりますが、大勢のビショップの机の隅には、情緒面の援助を求める人々用の申請書が山のようになっています。

だれかが問題を持ってやって来ると、そのビショップは残念なことに何の質問もせず、自分がその教会員に何をしているのかじっくり考えることもなしに、その申請書を渡してしまうのです。……

霊的な独立と自立は教会を支える力です。それを奪われた教会員は、どうして自分で啓示を受けることができるでしょうか。どうして神の預言者がいることを知るのでしょうか。どうして祈りの答えを得ることができるでしょうか。自力で確信を得ることができるでしょうか。……

個人の自立や
独立の
原則は、
幸せな生活を送る
基本となるのです。

家族への応用

……家族を管理する責任は父親にあります。

時々、わたしたちはまったくの善意からなのですが、子供にも父親にもあまりに多くを要求すぎて、父親にそれができないことがあります。

もしわたしの息子にカウンセリングが必要なら、最初に責任があるのは父親であるわたしです。ビショップ、あなたはその後です。

もしわたしの息子にレクリエーションが必要なら、わたしがそれをしてあげるべきであり、ビショップ、あなたはその後です。

もしわたしの息子に正すべきことがあれば、最初に責任があるのはわたしであり、あなたはその後です。

もしわたしが父親としてうまくいっていなければ、まずわたしを助けてください。わたしの子供たちはその後です。

あまりにも早くわたしの子育ての責任を取り上げないでください。

すぐ子供たちの相談に乗り、すべての問題を解決してしまわないでください。わたしを中に入れてください。それはわたしの神権者としての務めです。

わたしたちは、サタンが日々目先の満足を追い求めさせる時代に生きています。問題の早期解決を求めたり、何にでも速さを求める風潮があります。……

人生は試しの期間です。不安も失意も落胆も、ときには失敗でさえ正常なことなのです。

ほんとうに苦しい日があっても、それがしばらく続いても、しっかり立ってそれを直視するように、教会員に教えてください。そうすれば事は改善するでしょう。

人生で起こる苦難には大きな目的があります。■

この記事は、1978年4月の総大会で行われた説教から抜粋したものです。句読点はほかの記事と統一させるために変更し、小見出しが追加されています。全文は liahona.lds.org で読むことができます。

ホームシックを治す

わたしは18歳で大学に入ったのですが、その後間もなく別の大学に移り、専攻も変えました。新しい大学は自宅から2、3時間しかかからない所にあったのですが、わたしはひどいホームシックにかかってしまいました。勉強に身が入らなくなり、学業を投げ出して家に帰りたくなりました。しかし、そんなことをすれば学位を取る機会をみすみす棒に振ることも分かっていました。

新学期が始まって幾日もたたないころ、週末にルームメイトが全員実家に戻ってしまったことがありました。そのとき自分が同じように家に戻ったとしたら、二度と大学に帰らないことは分かっていました。家族に電話することや家族と話すことさえ怖くてできませんでした。そんなことをしたら気落ちして、勉強どころではなくなってしまいそうだったのです。それまではホームシックを克服できるよう祈り求めてきたのですが、このときは、そもそも大学に残って学業を終えなければならぬのかどうか知りたくて祈っていました。

日曜日の朝早く、静かなキャンパスを横切って教会への道を歩きながら、わたしは考えました。家や家族がこんなに恋しくて、寂しさに耐えかねているというのに、自分は学業を続けることができるのだろうか。でも、大学を辞めた場合、何をしたらよいのでしょうか。

わたしが教会に着いたのは、前の部のワードの人たちが礼拝堂を出たばかりのときでした。導きを求めて祈る時間があることを期待して、礼拝堂に入りました。わたしは空いている席を見つけると、木でできた座席の方に



その瞬間、わたしには自分のなすべきことが分かりました。主はわたしの祈りにこたえてくださったのです。あまりにも簡単な方法でしたが、これが祈りの答えだということは否定することができませんでした。

ゆっくりと歩いて行きました。そのとき、聖餐会せいさんのプログラムの印刷物が目に留まりました。前の部のワードが使用したものです。二つ折りにした紙の扉にこんな言葉が書かれていました。「恐らく、あらゆる種類の教育から得られる最も大きな収穫は、好むと好まざるとにかかわらず、なすべきことをなすべきときに行う能力である。」¹

その瞬間、わたしには自分のなすべきことが分かりました。主はわたしの祈りにこたえてくださったのです。あまりにも簡単な方法でしたが、これがまさに祈りの答えだということは否定することができませんでした。

その日曜日から程なくして、わたしは寂しさを感じなくなり、勉強にも意欲が持てるようになりました。その結果、その後の大学生活を有意義に過ごすことができました。学位と生涯みたまの友を得、御霊あかしのささやきに従うことによって証も強くなりました。

あれから25年以上たちますが、今でもそのとき受けた祈りへの答えは忘れませんし、聖餐会のプログラムに書かれていた言葉を思い出して、困難な課題に立ち向かう決意を新たにしています。

親しい友人や家族にも、この経験を話してきました。わたしと同じように試練のときに力を得てほしいからです。

主はわたしたちの思いや日々の選択に心を配っておられ、心からの祈りにこたえてくださることをわたしは知っています。■

アメリカ合衆国ユタ州、スー・ヒラセ

注

1. トーマス・ヘンリー・ハックスリー、ジョン・パーレット編、*Familiar Quotations* (1968年)、725

日曜日に休業できるでしょうか

2001年のことです。わたしが御霊^{みたま}に対して心を開き、福音を受け入れ、バプテスマを受けるといふ重大な決断を下してから3週間ほどたったころ、出席していた日曜学校で、安息日を守ることの大切さについて話し合いました。

多くの従業員を抱える会社を営んで成功を取っていたわたしは、20年以上にわたって日曜日に働いていました。しかし、安息日の大切さが分かったので、わたしは心を決めて日曜日の営業をやめる旨を3人の店長に伝えました。

この決定を通知してから2、3週間後、おもに学校の先生でしたが、納得のいかない何人かの客から、次の日曜日には店を開けてもらえないかという問い合わせが来ていることを3人の店長から知らされました。わたしの会社はパパントラでキャンディーを販売する仕事をしています。翌月曜日はエル・ディア・デル・ニーニョ（子供の日）なので、その準備のためにキャンディーやピニャータ（訳注——メキシコで子供のお祭りに使われる紙製のくす玉。中にお菓子やおもちゃなどが詰めてある）が必要になるのです。メキシコでは4月30日が子供の日とされており、学校でパーティーが開かれたり、ゲームが行われたりします。そして、子供たちはキャンディーをもらいます。

店長たちには、「明日土曜日に回答する」と伝えました。

わたしは家に帰ると妻にそのことを話しました。「店を閉めなくてもいいんじゃないの。一度だけなんだから」という言葉を期待していたのです。しかし、妻の口からは意外

な答えが返ってきました。

一家の長なんだからあなたが決めることよ、と妻はきっぱりと言い、わたしにこう問いかけたのです。「今度の日曜日、大もうけをするか、天のお父さまを受け入れるかのどちらかしかできないと言われたら、あなたはどちらを選ぶのかしら。」

妻からこう尋ねられて、毎週日曜日に主を受け入れることの大切さを悟りました。そして、最初の決定を覆してはならないことが分かったのです。主を敬うことは、人が日曜日にできる最も大切なことです。この時以来、日曜日に主を敬わなかったことは一度もありません。

この世のものよりも主のことを優先させるならば、安息日に対する証^{あかし}が与えられます。安息日を守ることによって、わたしも家族も大きな祝福を受けました。仕事もです。わたしたちが皆、主の日を尊ぶことによって祝福を得ることができそうです。■

メキシコ・ベラクルス、
ヘラルド・エイドリアン・
ガルシア・ロメロ

納得の
いかない
何人かの客から、
次の日曜日には、
店を開けて
もらえないか
という問い合わせが
来ていることを
妻に話しました。



お金が一銭も
ない月が
ありました。
そこである日の朝、
何らかの方法で
必要なお金が
得られるようにと
祈ったのです。

どうすれば家賃が払えるのでしょうか

レベッカと結婚して1年半後のことです。勤めていた会社が廃業したため、わたしは突然職を失ってしまいました。

わたしは別の勤め先を探すより、自分で会社を興した方がいいという促しを感じました。厳しい試練になることは目に見えていたので、感じていた気持ちに対して、天の御父に確認を求めました。この最初の決意を固める際に、祈りは重要な役割を果たしました。この時以来、祈りは欠かすことのできないものとなっています。

2003年8月、わたしは会社を創業しました。塗装と園芸、造園およびメンテナンス業務を行う会社です。自分の会社を持つと、物事はいつも順風満帆というわけにはいきません。特に最初のころは大変です。レベッカとわたしは月初めに家賃を払わなければなりません。しかし、お金が一銭もありません。そこである日の朝、何らかの方法で必要なお金が得られるようにと祈ったのです。すると、その日のうちに、家賃を払える

だけの収入が得られる仕事の注文が舞い込みました。

創業の1か月後、ステーキ会長から面接に呼ばれました。そして、間もなくわたしは所属ワードのビショップに召されたのです。この召しを受けて責任を果たすことができるよう、天の御父が道を開いてくださっていたことをわたしは知りました。会社の社長でなければ、ワードの会員や自分の家族のために必要な時間を割くことはできなかつたでしょう。わたしは経営者なので、柔軟にスケジュールを調整することができます。子供が生まれた時や、歩き始めた時、言葉を話すようになった時など、家庭で重要な出来事があるときにはいつも家にいました。それに加えて、わたしと妻は、コスタリカ・サンホセ神殿で奉仕することができます。こうした機会は、わたしたちが御霊の促しに従い、導きを祈り求めたために与えられました。そして、これらの機会を通して家族は固く結ばれるようになったのです。

わたしは最近、大学に復学しまし

た。大学に戻るよう促しを受けたときには、どうすれば家族を養うことができるのかと心配でした。週に2日は仕事を休んで講義を受けることになるのです。家庭はどうなるのでしょうか。

再び、妻とわたしはこの試練について祈りました。すると、主は答えを与えてくださいました。顧客と永続契約を結ぶことにしたのです。そうすれば、授業のため仕事ができない日があっても、それを埋め合わせることは比較的簡単にできます。

こうした経験すべてを通して、主は「求めなさい。そうすれば与えられるであろう」という約束を守ってくださることが分かりました(3 ニューファイ 27:29)。家族が成長し、より良い家族になるために、祈りは大切な役割を果たしてきました。主に頼るとき、主がわたしたちを祝福してくださるのを見、感じてきました。主はわたしたちの名前を御存じであり、必要なことは何でも主に願い求めることができると知っています。■

コスタリカ、ダグラス・アレバロ

神殿推薦状を持っていませんでした

17歳のころ、わたしは末日聖徒の神殿が見たくてたまりませんでした。当時家族と暮らしていたデンマークには、神殿がありませんでした。デンマークに住む聖徒にとって最も近い神殿は、スイスカイギリスの神殿だったのです。どちらの国にも知人はいませんでしたから、独りでスイスやイギリスに行くことなどとても無理でした。

しかし親戚がユタ州にいたので、お金をためてそこに行くことにしました。ソルトレーク神殿で死者のためのバプテスマを受けることにしたのです。ユタ州にいるおばといとこに手紙を書き、遊びに行ってもいいかどうか打診しました。彼らはわたしの計画を聞いて喜んでくれました。

1年後、待ちに待った旅の費用がついにたまりました。ユタ州に着いて2、3日すると、おばはわたしを車に乗せてソルトレーク神殿に連れて行ってくれました。実際の神殿を目の当たりにしてわたしは興奮し、ここで死者のためのバプテスマができると思うとわくわくしました。ところが玄関に着くと、神殿推薦状を見せるよう神殿ワーカーに言われたのです。神殿推薦状のことなど、これまでだれも話してくれませんでした。ワーカーは、神殿推薦状とは何か親切に説明し、それはビショップからもらえるものだと教えてくれました。

わたしはがっかりしました。親戚に会ったことと神殿を外から眺めることで我慢しなければならないのです。

次の日曜日、わたしは断食証会あかしで自分の証を伝える必要があると感じました。わたしは、こんなに近くに神殿があることがどれほど大きな祝福か

話しました。神殿に入りたいと強く望み、ふさわしい生活をするという教えにいつも従ってきたにもかかわらず、推薦状がないために神殿に入れなかったことも話しました。そして、できるかぎり頻繁に神殿に参入するよう会員たちに勧めて証を終えました。

集会が終わると、親戚のビショップがやって来て、わたしが神殿推薦状を得られるよう助けたいと言ってくれました。そこで、わたしは面接を受けることになりました。面接の席で、わたしのビショップは英語が話せるかと聞かれたので話せないと答えると、アメリカのビショップは「わたしもデンマーク語が話せないんですよ」と言います。わたしはまた、がっかりしてしまいました。

しかし、ビショップはこう言いました。「こんなに遠くまでやって来たのですから、まだあきらめてはいけません。主が助けてくださることをわたしは知っています。信仰を持ちさえすればいいのです。」

次にこのビショップは、デンマークにいるわたしのビショップの電話番号を聞いてきました。ビショップの電

話番号のメモはたまたま持っていませんでした。驚いたことに、電話に出たのはビショップの息子でした。イギリスでの伝道から帰ったばかりだそうです。アメリカのビショップにそのことを話すと、「すばらしい。息子さんが通訳できますね」と言いました。

わたしたち4人は、すぐに電話でやり取りを始めました。わたしのビショップが推薦状の面接の質問をわたしにすると、息子がそれをアメリカのビショップに通訳します。まもなく推薦状が出来上がり、ついにわたしは神殿に入ることができたのです。主が道を開いてくださいました。そのときに感じた喜びは言葉で表現できません。

後にわたしは神殿で結婚し、かわいい4人の子供たちに恵まれました。天の御父が神殿を与えてくださったことにとっても感謝します。自分が家族に結び固められていることに感謝します。また、義にかなった生活をすれば、永遠に家族と一緒に暮らすことができることに感謝します。■

アメリカ合衆国ユタ州、
アンメット・ハウランド

神殿推薦状のことなど、これまでだれも話してくれませんでした。がっかりしました。神殿は外から眺めることで我慢せざるを得ませんでした。



どうすればよいか 分からないとき、 どうしたらよいでしょうか？



七十人
スタンレー・G・エリス長老

ニーファイと兄たちが、ラバンから真鍮版を受^{しんちゅう}け取ることを2度にわたり失敗したとき、ニーファイは最後の試みとして「前もって自分のなすべきことを知らないまま」出かけて行きました（1ニーファイ4：6）。

時代を通じて多くの預言者が、信仰によって行動しなければならぬ、同様のチャレンジに直面してきました。アダムは、理由を知らないままに犠牲をささげるよう命じられました（モーセ5：5 - 6 参照）。アブラハムは、故郷を離れて新しい受け継ぎの地へ旅立つとき、その場所がどこなのか知りませんでした（ヘブル11：8；アブラハム2：3, 6 参照）。パウロはエルサレムに旅するとき、その地でどのようなことが自分の身に起こるか知りませんでした（使徒20：22 参照）。ジョセフ・スミスは木が生い茂る森の中でひざまずいたとき、どの教会に加わればよいのか知りませんでした（ジョセフ・スミス—歴史1：19 参照）。

わたしたちも、何をすべきか分からないまま、何らかの行動を迫られる状況に陥ることがあり

ます。ありがたいことに、このような経験により、先が見えないながらも、前進するすべを教えられています。

ニーファイは、主の戒めを忠実に守るよう、兄弟たちを励ました（1ニーファイ4：1 参照）。そして、そのような信仰に基づいて行動しました。ニーファイは「都に忍び込み、ラバンの家に向かって進んで行った」とき、「御霊に導かれ」ました（1ニーファイ4：5 - 17）。御霊はニーファイに、するべきことだけでなく、それを行う重要性についても教えました（1ニーファイ4：12 - 14 参照）。

アダムは「主の戒めに従順」に応じました（モーセ5：5）。アブラハムは信仰によって行動した結果、「約束の地に宿り」ました（ヘブル11：9）。パウロは「投獄と患難」を恐れず、「主イエスから賜^{たま}わった」任務を果たすことを選びました（使徒20：23 - 24）。ジョセフ・スミスは聖文を深く思いはかり、「神に願い求め」るようにとの招きに従うことを決意しました（ジョセフ・スミス—歴史1：13）。

わたしたちの知識が完全ではないとしても、主はわたしたちに、**尋ね求め、研究し、行動することを求めています。**

わたしたちの行動する責任

聖文が警告しているのは、知らないことが行動しないことへの言い訳にならないということです。ニーファイは「父の見たことを知りたい」という思いにふけっていたときに「主の御霊に捕らえられ」ました（1ニーファイ11：1）。一方レーマンとレムエルは、「以前に〔リーハイ〕が話したことについて言い争って」いました（1ニーファイ15：2）。

この世では決して知ることができないことがあったとしても、主はわたしたちに、尋ね求め、研究し、行動することを求めています。知ることができないことの一つに主の再臨の時期があり



ます。主は言われました。「だから、目をさましていなさい。いつの日にあなたがたの主がこられるのか、あなたがたには、わからないからである。」(マタイ 24:42) ウィルフォード・ウッドラフ大管長(1807-1898年)は、その日がいづなのか分からないので、その日に備えるように教会の会員たちに勧告しました。しかし、それでも、彼は桜の木を植え続けることを明言しました。¹

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように述べています。「ふさわしい生活を送っており、その選択が救い主の教えと一致して、そして行動を起こさなければならないのであれば、信頼を胸に前進してください。御霊の促しに敏感であれば、二つのうちのいずれかが必ず適切なときに起こります。つまり思いが鈍って不適切な選択であったことが示唆されるか、平安を感じたり胸の内が燃えたりするのを感じ、選択が正しかったこ

とが確認されま
す(教義と聖約
9:8-9参照)。
皆さんが義に
かなった生活
を送っていて、神を
信頼して行動して

いるならば、間違った決定をしている場合、神は警告的な気持ちを与えないまま、皆さんが進みすぎてしまうのを黙って見ているようなことはされません。』²

主を試みる

わたしの人生において、どうすればよいのか判断に困ったという経験が2回あります。それらの経験により、戒めに従い、生ける預言者に従うことの重要性が分かりました。大学時代、お金に困ったため、アルバイトを見つけました。最初の給料を受け取ったとき、次の給料日まで生活していけるかどうか分かりませんでした。しかし、わたしは什分の一じゅうぶんに関する主の約束を思い起

わたしたちが
答えを求めるところは、
預言者、聖文、救い主以外には
ありません。

こしました。「これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。」(マラキ 3:10)

わたしは主を試みようとした。最初に什分の一を納めました。すると主はわたしが生活していけるように祝福してくださいました。この出来事から、わたしは主の約束を信頼することを学びました。

数年後、妻のエリス姉妹とわたしには小さな子供たちがいたうえに、新しい仕事に就いたばかりだったので、雇用主は医療保険の計画を変更しました。古い保険が6月1日で期限切れとなり、新しい保険の執行が7月1日付けとなっており、1か月間、保険のない状態に置かれることになりました。わたしたちはどうしたらよいか分かりませんでした。N・エルドン・タナー管長(1898-1982年)の講話を思い出しました。タナー管長は教会員に、常に健康保険に加入しておくように勧告しました。³

わたしは会社との話し合いで、6月中も引き続き保険契約を保証してもらいました。6月28日のこと、長男のマットが、近所のプールで高い飛び込み板から落ち、コンクリートにたたきつけられました。頭蓋骨骨折に加え、脳しんとうを起こしていました。すぐにヘリコプターで病院に搬送され、そこで専門医から治療を受けました。費用はけた外れに高く、わたしたちの家計に大打撃を及ぼすところでした。幸いなこと



にも、治療費のほとんどを健康保険で賄うことができたのです。

どうしたらよいのでしょうか？

それでは、何をしたらよいのか分からないとき、わたしたちは何をすべきでしょうか。そういうとき、わたしたちが答えを求めるところは、預言者、聖文、救い主以外にはありません。わたしたちは以下の価値ある方法によって教えを受けることができます。

1. 研究と祈りを通して答えを求める。
2. 戒めに従う。
3. 主と主の約束を信頼する。
4. 預言者に従う。
5. 恐れず信仰をもって進む。
6. 使命を果たす。

これらの各ステップにおいて、十二使徒定員会のボイド・K・バックナー会長の勧告に従うとよいでしょう。「どんなときも常に御霊の励ましに従ってください。」⁴ ■

アブラハムは、故郷を離れて新しい受け継ぎの地へ旅立ったとき、その場所がどこなのか知りませんでした。信仰によって行動した結果「約束の地に宿り」ました。

注

1. 『歴代大管長の教え——ウルフォード・ウッドラフ』250 参照
2. リチャード・G・スコット「祈りという天与の賜物を用いる」『リアホナ』2007年5月号、10
3. N・エルドン・タナー「不変の原則」『聖徒の道』1982年3月号、46; *Ensign*, 1979年11月号、82 参照
4. ボイド・K・バックナー「回復」『世界指導者訓練集会』2003年1月11日、2

御霊の助けを受ける

サマンサ・M・ウィルズ

建 設作業員は、倒れたまま横たわっていました。彼がなんとかバランスを取りながら横たわっている幅9インチ（約23センチ）の板は、地上30メートルの所にあります。落下してきた鉄骨に打たれた際に、彼の左腕と左足は部分的に切断されていました。

わたしはイングランド北部のほとんどの地域を担当する、ヨークシャー航空救急隊に所属する救急救命士です。次に来る緊急通報の現場がどんな状況で、自分がどんな場面に遭遇するのか、知るよしもありません。

このケースでは、負傷者の傷をよく調べてからでないと、安全に移送することはできませんでした。わたしはクレーンの金属製の荷台に乗ってつり上げられました。負傷者のところに来ると、一人の作業員はわたしが着ていた反射材の付いた上着の背中を持って、人間クレーンさながらに、わたしが自由に動いて負傷者を調べられるようにしてくれました。

このような状況では、長年の訓練が物を言います。わたしは男性の傷を調べ始めました。ひざには、建設現場の作業員が施した応急処置により、緊急災害時用の包帯が巻かれていました。通常であれば、訓練された手順に従い、傷を確認し損傷の程度を診断します。

しかし、負傷者のところに来たとき、御霊が「包帯を外さないように」と促しました。そのため、わたしは包帯に手を触れませんでした。搬送するまでに、もう3回、応急処置をした担当者、地上にいた同僚、医師に、傷の具合を見るように言われました。そして3回とも、御霊は、包帯には触れないように促しました。いったん、患者を固定してから、彼を荷台に寝かせ、それから地上に降りて、病院に搬送しました。



緊急蘇生室^{そせい}で外傷担当班がわたしたちを待ち構えていました。一人の医師が手早く応急処置を外しました。すると、すぐに動脈が裂け、患者は大量に血を流し始めました。病院という管理された環境だったからこそ、命を脅かす状況下からすぐに抜け出せました。これが地上 30 メートルの場所で起きていたら、患者の命はなかったことでしょう。

毎朝、わたしは天の御父に助けを願い求め、今日助けが必要な兄弟姉妹を救助する最善の方法^{きょう}が分かるよう、靈感を与えてくださるよう祈ります。長年の経験から、御霊が促すことはどんなことでもそのとおりにするべきだと学びました。その従順さは、自分をも守ってくれます。

例えば、わたしには現場に向かうヘリコプター操縦士を誘導する責任もあります。救急ヘリはほとんどどのような所へも飛んで行くことができます。すぐに事故現場に駆けつけられる利点は大きいのですが、その分危険も伴います。時速 140 マイル（約 225 キロ）以上のスピードで飛行しているので、電線や電話線がよく見えません。ヘリに当たればすぐに機体を切断することになります。

あるとき、わたしたちのヘリが厄介な場所に着陸することになりました。突然御霊がわたしに語りかけました。「クリップボードを降ろさない！」すぐにもう一度感じました。「降ろさない！」ひざのそばにあったケースにクリップボードを置くために、わたしは体を前にかがめました。すると、視界が開け、電線がヘリのすぐ下にあるのが見えました。「電線！電線！下にある！」こういうのが精いっぱいでした。ヘリは電線にかすり機体が傾きましたが、操縦士がすぐに反応して機体を上げたので助かりました。もう少しで今までに経験したような災害が起きるところでした。御霊の促しがなければ、あの緊急出動はまったく違った結果を迎えていたはずでした。

天の御父が愛によりわたしたちの必要を知ってくださることにとっても感謝しています。主はいつもわたしたちを見守ってくださっています。わたしたちが霊的に安全なところにとどまり、主のみもとに帰ることを望んでおられます。それがかなうように、御霊の細くて静かな声によって、わたしたちにしばしば語りかけてくださいます。わたしたちはただ、聞いて、従えばよいのです。■

みたま
御霊の

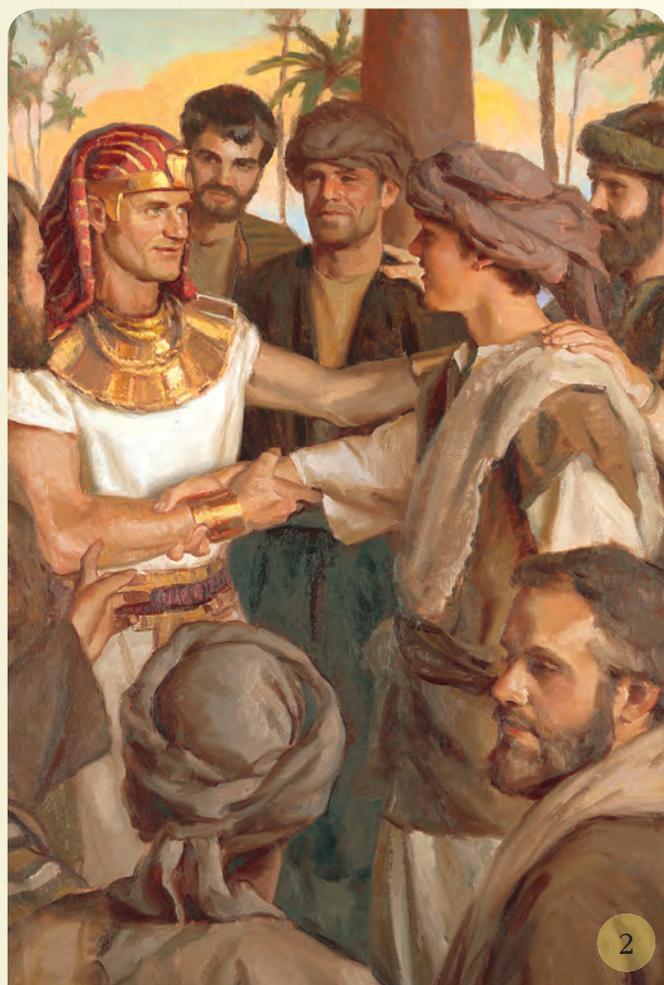
促しがなければ、あの緊急出動はまったく違った結果を迎えていたはずでした。

今の時代にも 当てはまる

教会教育システム
アンドリュー・ホートン

旧約聖書は古すぎて何も教えてはくれない、
と思いませんか。ほんとうにそうでしょうか。

旧約聖書の言葉や時代、文化は今日こんにちのものとは大きく異なりますが、みなさんはその旧約聖書から多くを学ぶことに驚くでしょう。祈りをもって研究するならば、旧約聖書のお話の中から、今の自分の生活に応用することのできる原則を見いだすことができます。たくさん例の中から9つほど紹介しましょう——



2



7

1. 誘惑から逃れたエジプトのヨセフ（創世 39 : 12 参照）。誘惑から逃れることの方が、罪を犯してから悔い改めるよりたやすいものです。
2. ヨセフは人々を救ゆるしました。自分を奴隷として売った兄たちさえも救したのです（創世 45 章参照）。あなたは周りの人を救っていますか。特に、自分の家族に対してはどうでしょうか。
3. 主は、イスラエルの民に日々マナを与えて養われました（出エジプト 16 : 15 参照）。同様に、主はわたしたちの霊を養うためにたくさんのもを与えてくださっています——祈り、聖典、聖餐せいさん、神殿です。
4. 出エジプト記第 28 章には、アロンや他の神権者がどのような衣服を身に着けるべきかが示されています。主は、礼拝に関する大切な事柄を思い起こせるよう特定の服装をすることを求めになりました。あなたが教会や神殿



6



8

聖霊に耳を傾けること(左上), 祈るのが難しいときにも祈ること(上), 預言者の勧告に従うこと(下)は、旧約聖書から学ぶことのできる教訓のごく一部です。

に行くときの服装は、あなたの敬虔さや礼拝にどのような影響を与えるでしょうか。

5. レビ記の大部分は、犠牲とその祝福について書かれています。時間や才能や金銭などのあなたがささげる犠牲は、天の祝福をもたらすでしょう。
6. サムエルの模範から、主の声に耳を傾け、それを認識することの大切さがわかります(サムエル上3:4-10参照)。聖霊の促しを認識し、それに従うにつれ、生活は向上するでしょう。
7. 若いダビデの選択は、「イスラエルに神がおられる」とダビデが信じていたことを示すものでした(サムエル上17:32-51)。あなたの選択は、あなたが神を信じているかどうかを表します。
8. ダニエルは王の命令に背いて祈り、その姿を見られてしまいました(ダニエル6:11参照)。祈るのが難しいときでも祈り、それを見られることがどのくらいありますか。
9. ナアマンは、預言者に従うときに力が与えられることを学びました(列王下5:1-14)。今日の預言者や使徒の勧告に従うならば、あなたの生活にも主の力がもたらされるでしょう。

ネブカデネザル王は3人のイスラエル人を火に投げ入れました。しかし、王が火の中をのぞいたところ、「四人の者がなわめなしに、火の中を歩いているが、……その第四の者の様子は神の子のよう」でした(ダニエル3:24-25)。旧約聖書をのぞいてみると、神がその子供たちとともに歩いている姿を見ることができます。

これらの人々の経験は、より良い神の息子、娘になる方法を教えてくれます。■



9

右—王に呼ばれた少年サムエル ハリー・アンダーソン画。「ネブカデネザル王の前のダニエル」サイモン・ハートマン・ベッター画。「らい病を癒されたナアマン」ポール・マンガー画。「エジプトのヨセフ」マゲル・T・マルム画。絵:テッド・ヘニングス

わたしたちのスペース



わたしの好きな聖句

「あなたがたは、わたしのもとに来るならば永遠の命を得るであろう。見よ、わたしの憐れみの腕はあなたがたに向けて伸べられている。わたしは来る者をだれでも受け入れよう。わたしのもとに来

る者は幸いである。」(3 ニーファイ9:14)

これは、わたしの大好きな聖句の一つです。キリストが生きておられ、わたしたちが主に従うよう望んでおられるという証をくれた聖句だからです。■

ハンガリー、ヘヴェシュ、オリビア・K、15歳

わたしたちは今、 宣教師です

『リアホナ』2007年3月号「主の福音を宣べ伝える——どのように備えたらよいか」は、わたしたちに大切なメッセージを伝えてくれました。宣教師になるためには19歳ま

で待つ必要はありません。必要なのは、わたしたちは今すでに宣教師なのですから。

記事には、サタンに打ち勝てるように聖典を調べ、深く考え、いつも祈るべきだと書かれ

ていました。わたしたちはいかなる時も救い主イエス・キリストを信じる信仰を持っていないければなりません。■

サモア、メリッサ・N、18歳

すべては善し

霊的な混乱を感じたある晩のことを、今でもはっきりと覚えています。苦しみを感じ始めたのは、インスティテュートへ向かう途中でした。頭は混乱し、自分の信仰が真実だと言うことができなくなってしまいました。確かだと思えるものがもう何もありませんでした。自分に落胆し、自分を恥ずかしく思い、力を求めて祈りました。

集会所に着くころ、わたしは惨めな気持ちに圧倒されていました。深呼吸をしてから、建物に入りました。礼拝堂に近づくなり、兄弟姉妹の歌う賛美歌「恐れず来たれ、聖徒」(『賛美歌』17番)が耳に入ってきました。わたしはすぐに平安を感じました。それは、聖霊を通して神から与えられたものでした。

その平安があまりにすばらしいものだったので、わたしは涙をこらえることができませんでした。主は、すべては善く、わたしには恐れる必要がないということを教えてくださいました。闇の力が

わたしの学んできた善い事柄をすべて台なしにしようとしたのですが、神の愛は恐れる必要のない温かいものなのだとわかりました。神は実際におられ、わたしたちの避難所であり力であることを理解しました。また、神を信じる信仰を働かせ、常に祈りを通して神の導きを求めるならば、試練や誘惑に打ち勝つことができることも学びました。

この世は困難に満ちており、次にどんな困難がやって来るかは分かりません。わたしたちは神を十分に信頼し、聖文の研究を通じて信仰を増し、神の御心と調和した生活を送る必要があります。■

ブラジル、パイア、イヴォネッテ・S、19歳

「あなたはわたしのともしびをともし、
わが神、主はわたしのやみを照されます。」
(詩篇18:28)

あなたのスペース

ここは、あなたのページです
—— 自分にとって福音がどのようなものかを他の青少年と分かち合う場所です。このページに掲載される記事の内容とあなたが投稿できるものを紹介します ——

- 福音をさらによく理解し、福音に従って生活する助けとなった経験や考え方。
- 自分で撮った高解像度写真と、表題となる聖句。
- 『神への務め』または『成長するわたし』を進めるうえで得た良い経験。
- 感銘を受けた聖句についてのコメント。よければあなたの写真を一緒に送ってください。
- 『リアホナ』についての感想 —— どの記事を気に入りましたか。

自分の話や写真、コメントを liahona@ldschurch.org までお寄せください。メールの件名欄に「Our Space」と書き、寄稿文を掲載するための父親または母親の許可文を添えてください。掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

ウェブで ——
数か月後の『リアホナ』で使うのに最適のポスターを選んでください。
liahona.lds.org を開き、投票してください。
同じサイトで今後のポスターの見出しやアイデアも提案できます。

徳の導き手となる!

中央若い女性会長会

世の中を変えたいと思うのに何かから手をつけてよいのか分からない、と思ったことはありませんか。何か正しいことのために立ち上がりたいのに友達から笑われるかもしれないと思い、雄々しくなれなかったことがありますか。今年、あなたがリーダーになる年です。あなたはリーダーになるために地上に送られてきました。現在、この世はこれまでにないほど強くあなたの光とリーダーシップを必要としています。あなたは世の中を変えることができますのです。

2010年のテーマは「強く、また雄々しくあ[る]」(ヨシュア1:9)ように勧めています。強さと雄々しさは、リーダーが持つ特質です。教会の会員であるあなたは、徳と義のリーダーなのです。

わたしたちの預言者、トーマス・S・モンソン大管長は、わたしたちに勇気を持つよう求めました。

「現代の考え方を受け入れている人々の中で、純潔を守り、徳高くあるには、大きな勇気が必要です。

今日の世の中では、若い男性や女性が結婚前に道徳的な純潔を保つことは、考えに入っていない。だからといって不道徳な行為を許容できるでしょうか。絶対にできません。」¹

標準に従って生活し、正しい選択をし、預言者に従うときに、人々を導くための勇気が与えられます。日々祈り、モルモン書を読むことによって救い主への証を強めようとするときに、強さが与えられます。小冊子『若人の強さのために』に記されている標準に従って生活するときに、人々を導くための強さが与えられます。これらのことを行うとき、あなたは自分に満足するでしょう。自分に自信を持ち、霊的な強

さがはぐくまれることでしょう。

それから、笑顔を忘れないでください。いつでも前向きでいきましょう。「わたしたちの力の限りすべてのことを喜んで行おう。そして願わくは、その後、わたしたちがこの上ない確信をもって待ち受けて、神の救いを……見ることができるように。」(教義と聖約123:17) 皆さんは、いつでも善悪をわきまえることができます(モロナイ7:16参照)。また、「あなたがたがなすべきことをすべて」(2ニーファイ32:5)聖霊が示されると約束されています。研究するときに、静かな細い声の導きに耳を傾けてください。「聖霊の力によって、あなたがたはすべてのことの真理を知るであろう」(モロナイ10:5)という確かな約束が与えられているのです。

どのような状況にしろ、あなたは家族や学校、社会のリーダーとなるために生まれてきました。ですから今年、ぜひ強く雄々しくあり、世の中を変えてみましょう。あなたは独りぼっちではありません。天の御父はあなたの祈りを聞き、こたえてくださいます。またあなたが聖さを保ち聖霊を常に伴侶とするにふさわしくあるならば、あなたの行いに導きを与えてくださるでしょう。

皆さんは天の御父の娘で、御父は皆さんを愛しておられます。今は皆さんの時代です。わたしたちは皆さんを愛しています。皆さんが標準に従って生活し徳の導き手となるうえで強く雄々しくあるよう祈っています。皆さんの義にかなった模範によって世界は変わるのです。■

注

1. トーマス・S・モンソン「勇気を持てるように」『リアホナ』2009年5月号, 125

2010年の ミューチャルのテーマ

「強く、また雄々しくあれ。
あなたがどこへ行くにも、
あなたの神、主が
共におられるゆえ、
恐れてはならない、
おののいてはならない。」
(ヨシュア1:9)



最上 — イレイン・S・ダルトン、会長(中央)、
メアリー・N・クック、第一顧問(左)、
アン・M・ディブ、第二顧問(右)。
上 — デビッド・L・ベック、会長(中央)、
ラリー・M・ギブソン、第一顧問(左)、
エードリアン・オチョア、第二顧問(右)

雄々しく困難に立ち向かう

中央若い男性会長会

責任をやり遂げる能力が自分にあるのだろうか不安になったことはありませんか。偉大な預言者モーセの後継者となったヨシュアがどのような気持ちを抱いていたかを想像してみてください。イスラエルの民を約束の地に導いて行くという重い責任がヨシュアの肩にかかったのです。そのうえ、約束の地は恐れ知らずで争い好きな多勢のカナン人に占拠されていました。そのような困難な任務を成し遂げる能力が自分にあるのだろうか不安に思うヨシュアの姿を想像できるでしょうか。ひょっとすると恐れさえ抱いていたかもしれません。

ヨシュア記第1章の4つの節で、主はなんと3度も「強く雄々しくあれ」と命じられました(6-9節参照)。それから主はある約束をされました。それは、ヨシュアがイスラエルの民を受け継ぎの地に連れて行くことに成功し、あらゆる律法に従順であることにより強さと雄々しさが与えられ、そして最も重要なことに、ヨシュアがどこへ行くにも主がともにおられるという約束でした。

2010年のミューチャルのテーマは、主のヨシュアへの3度目の呼びかけ——「強く、また雄々しくあれ」です

(ヨシュア1:9)。雄々しくあれという呼びかけは、あなたへの呼びかけでもあります。そしてその約束もまた、あなたへのものです。救い主の助けにより、あなたも自分に与えられた召しや人生において成功することができます。戒めに従い、『若人の強さのために』に記されている標準を保つときに、あらゆる誘惑に耐える力が与えられます。神権を尊び、バプテスマのときに交わした聖約を毎週更新するならば、常に救い主の御霊をほんりよ伴侶とすることができます。

ヨシュアには、未知の事柄がたくさんありました。どのようにすればイスラエルの子らを約束の地に連れて行けるのか分かりませんでした。ヨシュアは主を信頼しました。あなたも生活する中で困難に直面するでしょう。学校や家族にあって数少ない教会員であるかもしれません。孤独感や落胆、不安を感じるかもしれません。この困難な時代において自分の将来について

不安に思うかもしれません。しかし、雄々しくあってください。主はあなたとともにおられます。あなたは主を信頼することができます。主はあなたが成功できるよう助けてくださいます。

このことを思い出させてくれるすばらしい言葉が箴言第3章5節に記されています——「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。」わたしたちは自分の召しを果たすときに、主を信頼するように努めています。同じようにするよう、あなたにお勧めします。あなたを愛しています。あなたを信頼しています。あなたは、強く雄々しい、選ばれた世代の若い男性なのです。■



じゅうぶん 強い

主の助けを得れば、
あなたには十分な強さがあります。

(ヨシュア1:9参照)



そこが知りたい

教会員ではない友達から、なぜ死者のためにバプテスマをするのかと尋ねられます。彼らには奇妙なことに思えるようです。どのように説明すればよいでしょうか。

救い主は次のように教えられました。「だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。」(ヨハネ3:5) つまり、わたしたちが存在する目的である永遠の命を得るためには、人はバプテスマと聖霊を受けなければなりません。

バプテスマは救いに欠かせないものですが、



フィンランド・ヘルシンキ神殿のバプテスマフォント

多くの人が様々な理由でバプテスマを受けていません。福音を知らないまま亡くなった人もいれば、正しい権能を持っていない人からバプテスマを受けた人もいます。

天の御父は憐れみ深く公正な御方なので、この世でバプテスマを受ける機会がなかった人々を罪に定めるようなことはなさいません。これらの亡くなった人々に永遠の命を受ける機会があるように、ふさわしい教会員によって神殿で死者のためのバプテスマが執り

行われるのです(1コリント15:29; 教義と聖約124:29-36; 128:18 参照)。

この世を去り、現在、霊界にいる人々は、福音と自分のために行われた儀式を受け入れるか、それとも拒むかを選びます(教義と聖約138:58-59 参照)。

死者のためのバプテスマを行うことによって、あなたは天の御父のより多くの子供たちに、御父が備えられたすべての祝福を受ける機会をもたらししているのです。■

友人が聴いている音楽がふさわしくありません。そのことを、友情を傷つけないように伝えるにはどうしたらよいでしょうか。彼女はいつも、友達なら音楽の好みに文句をつけたりしないだろうと言っています。どうしたらよいでしょうか。

どんな音楽を聴き、どんな友人とつきあうかは、あなたの人生に大きな影響を与えます。ゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910-2008年)は、こう言っています。「友人を注意深く選んでください。いずれの方向であれ皆さんを導くのは友人なのです。」¹

聴く音楽について友人と話し合うことは、お互いにとって良い経験になるでしょう。相手の気持ちを尊

重しながら、健全なメディアの価値と低俗なメディアの有害さについて、あなたの気持ちを説明してください。友人が選ぶ音楽のために、一緒に過ごす時間を十分に楽しめないであることを伝えましょう。

友人が御霊を退けるような音楽を聴くのをやめないなら、ほかの人と友達になってはどうでしょうか。友達は大切ですが、そのために自分の霊性を犠牲にするようなことがあってはいけません。■

注
1. ゴードン・B・ヒンクレー「若人への預言者の勧告と祈り」『リアホナ』2001年4月号、37

あなたはどんなことが知りたいですか。教えてほしいことを電子メールで liahona@ldschurch.org に送ってください。件名欄には「To the Point」と書いてください。

その本に興味をひかれました

わたしはモルモン書を読み始め、宣教師が教えてくれたメッセージについて深く考えました。

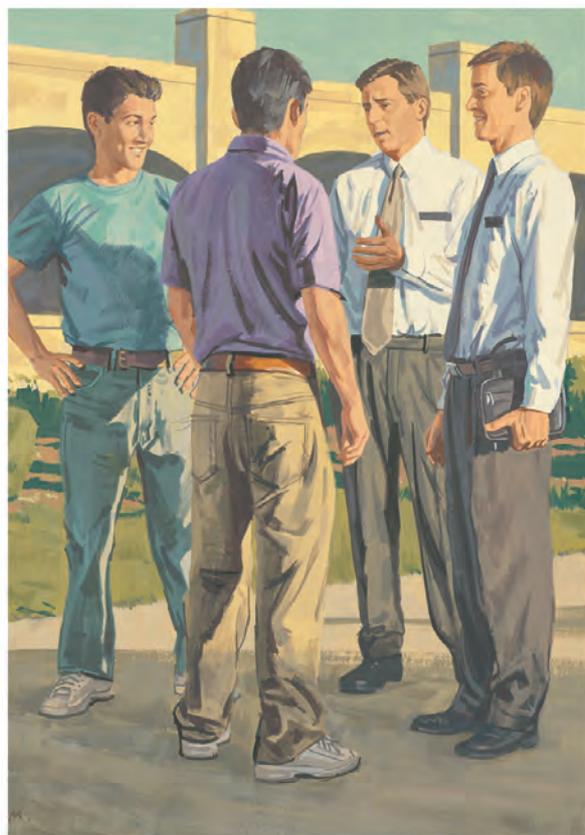
ウィルフレド・バレンズエラ

ある日、わたしは友人たちと集まってパーティーをしました。友人の家で、しゃべったり、飲んだり、たばこを吸ったりしていました。ところが、友人の一人のパトリックは、輪に加わりません。そのうち、わたしはパトリックが、ほかのみんなが口にしてるものにどれ一つ手を出そうとしないのに気づきました。そして、彼がモルモンであることを思い出しました。

遅い時間になり、みんなと別れた後、わたしとパトリックだけになりました。一緒にジープニー〔訳注——ジープを改造したフィリピンの小型乗合バス〕で帰りました。わたしはずっと、なぜパトリックは輪に加わらなかったのだろう、と考えていました。そして、ふと4年前のある日のことを思い出しました。わたしたちが16歳だったころ、学校の近くの通りを二人で歩いていたとき、わたしはいつか祭司になりたいとパトリックに言ったことがありました。

するとパトリックはこう言いました。「ほくたちの教会では、君はもう祭司になれるよ。聖任を受ける必要があるだけさ。そして19歳になったら、宣教師として福音を宣べ伝えることができるんだ。」

「そんなこと、あるわけないよ」と、わたしは言いました。パトリックは福音についてよく知



わたしたちはばったり宣教師に出会いました。宣教師は、わたしの質問に答えるために会う約束を作りたいと言いました。

らないのだと思いました。「ほんの19歳で、どうやってほかの人に教えるんだい。祭司は福音を教えるために何年も勉強するんだよ。」

それでもパトリックは、自分の教会では19歳で福音を教えることができると言い張りました。また、自分の教会には聖書以外にも一つ聖典があると行って、わたしに1冊くれました。家でとところどころ拾い読みしたとき、

わたしはその本に何か神秘的なものを感じました。でもあまり気に留めることなく、本を箱の中に突っ込み、それから4年間、そのままにしていました。

そして今、パーティーの帰りのジープニーの中で、わたしはパトリックにこれからどこへ行くのか尋ねました。「友達と会うんだ。宣教師をしている長老たちだよ。」わたしは前に宣教師たちを見かけたことがありました。そこで、教会について幾つか尋ねたいことがあるから一緒に連れて行ってくれないかとパトリックに頼みました。

わたしたちは教会の支部の近くにある店で、ばったり宣教師に出会いました。宣教師たちは握手を求めてきて、わたしたちにあいさつをしました。とても礼儀正しい態度でした。しかし宣教師が自己紹介するのを聞くと、ほかの若者と何ら変わらないように思えました。宣教師は、わたしの質問に答えるために会う約束を作りたいと言いました。

「いいですよ。電話番号を教えてください、都合の良いときにメールします」と、わたしは答えました。でも実際にメールするつもりはありませんでした。

家に帰ると、わたしは4年前にパトリックがくれた本を取り出しました。何となく興味をひかれたのです。翌朝、福音を教えてほしいと宣教師にメールしました。宣教師は、まず福音の回復について教えてくださいました。でもその教えがあまりに異様なものを感じられて、わたしはこう自問しました。「昔は今とは違うと分かっ

ているのに、どうして物事を回復したと思うのだろう。」

宣教師と2度会って話し合った後、わたしはもう話し合いは続けられないことにしました。理由を尋ねられ、「もう興味がないだけです」と答えました。それから1週間後のことです。わたしは座ってモルモン書を見つめながら、教えてもらったメッセージについて深く考えていました。そして第3ニーファイ第11章の、宣教師が読むように言っていたところを読み始めました。御自身が救い主でありメシヤであることを示すために、イエスがもう一つの民を訪れられたことが書かれていました。やがて第3ニーファイ第15章の中に、前に聖書で読んだことのある一節を見つけました。ヨハネによる福音書第10章16節です。それは、まだ宣教師に教えてもらっていないことでした。

涙が頬を流れ落ち、いつの間にかわたしは部屋で泣いていました。イエス・キリストがわたしたちに抱いておられる愛を知ったのです。イエス様はわたしたちを深く愛しておられるので、わたしたちを罪から救うために、御自身の命をささげてくださいました。わたしはためらうことなく祈り、今、手にしているモルモン書が真実かどうか知りたいと願いました。独りきりで部屋で祈っていましたが、突然、だれかがそこにおいて、わたしの祈りに耳を傾けてくださっているのを感じました。

そのとき受けた印象によって心が和らげられたわたしは、立ち上がっ

て、こう言いました。

「これは真実の教会だ。ぼくには分かる。これはイエス・キリストが回復された教会だ。」

バプテスマを受ける前日、わたしはもう一度、同じように祈りました。すると再び、それまでに聞いてきたことや感じてきたことが心に染み込み、聖霊が真理を明らかにしてくださっていたのだと分かりました。イエスがキリストであるという真理を知ったのです。わたしはバプテスマを受けたいと心から思いました。イエス・キリストの贖い^{あがな}によって清めていただけると信じていたからです。

イエス・キリストはわたしたちの罪を贖ってくださいました。これこそまさに、わたしが改宗した理由です。イエス・キリストこそ、現代の神権時代に御自分の教会を再び築く力と権威を持つ唯一の御方です。現在、わたしは宣教師としてフィリピン・カガヤ

あなたがどのようにして証^{あかし}を得たか、または強めたかを、分かち合ってみませんか。信仰を鼓舞するような体験についての記事をお待ちしています。あなたの経験談をメールで liahona@ldschurch.org に送ってください。件名欄には「How I Know」と書いてください。

ンデオロ伝道部で働いていて、自分が今感じているすばらしい幸福をほかの人々にも感じてもらえるように全力を尽くしています。■

答えを求めて 祈る

シルビア・ウォータポー

ある日、数学のテスト中に、ある問題の解き方を思い出すことができませんでした。今回のテストに向けて備えてきたにもかかわらず、家で復習したことが思い出せないのです。それでも、わたしには天の御父に助けを祈り求める信仰がありました。

わたしは最初に感じた促しに従おうと決めました。祈った後、ある方法を使えば問題を解くことができると感じました。でも疑いが頭をもたげました。その問題を解くのにそぐわない方法に思えたのです。そこで、自分なりの方法で精いっぱい取り組みました。

テスト用紙をすべて集め終わると、先生は解説をしてくれました。そしてわたしは、祈りの後で感じた気持ちに従っていけば正しい答えを導き出せたことを知りました。それなのに、わたしは耳を貸さなかったのです。

その後、期末試験のとき、また一つ解けない問題がありました。家で練習した問題なのに解けないのです。

天の御父に助けを祈り求めたいと思いましたが、前に御父の助けをそっけなく拒んだときのことを思い出しました。助けを求めるのを恥ずかしく感じました。でもほかにどうすればよいか分からなかったので、とにかく助けを求めて祈りました。

そして促しを受けたとき、またしても疑いがわき起こりました。わたしは前回にも増して困惑しました。でもわたしは耳を傾けると主に約束していました。そこで、疑いを払いのけ、促されたとおりに問題を解きました。

テストの採点が終わり、先生が成績を発表しました。いちばん低い成績から高い成績へと、順番に発表されていき、クラスは興奮に包まれました。低い成績である「3」で名前が呼ばれなかったとき、わたしは「2」を取れたのだと思い、喜びました。これまでに



数学で取った最高の成績だったからです。ところが「2」でもわたしの名前は呼ばれず、気持ちが一変しました。「1」を取るなど絶対にあり得ないので、クラスで最低の成績を取ったのではないかと、怖くなってきました。

ところが、「1」を取った人たちのときに、わたしの名前が呼ばれたのです。主の御手^{みで}があったことに気づき、わたし

に対する主の愛と忍耐を知って、胸がいっぱいになりました。数人のクラスメートから「すごいじゃない!」と言われても、ただ首を横に振るばかりでした。促しに従ったからこそ、優秀な成績を修めることができたのです。■

助けを求めて
祈ることがありますが、
その答えは、
信仰が試された後に
初めて与えられます。

質問の力

バージニア・シルドボック

カースティンと友達
になったのは、
わたしが14歳

のときでした。わたしたちは同じ学校に通っていましたが、個人的に親しくなる機会はありませんでした。カースティンは12歳だったからです。

お互いのことをより深く知り合うようになったのは、学校の演劇のオーディションで一緒になったときのことでした。年は2歳離れていましたが、わたしたちはすぐに良い友達になりました。間もなく、昼過ぎになると待ち合わせて一緒に散歩をしたり、話をしたりするようになりました。ある春の午後、いつものように並んで歩いていたとき、カースティンがあることを尋ねました。その質問が、彼女の人生を永遠に変えることになったのです。

オーストリアでは、ほとんどの生徒が学校の宗教クラスに出席します。それなのに兄とわたしが出席していなかったため、カースティンは不思議に思っていたのです。そこでわたしはカースティンに、イエス・キリストの福音と末日聖徒イエス・キリスト教会について話しました。そして自分の証^{あかし}を述べ、カースティンを青少年の活動に誘いました。その後、モルモン書と『リアホナ』をプレゼントしました。

それ以来、カースティンは教会のあらゆる活動に参加するようになりました。毎週日曜日には、教会の集会に出席していますし、ユースカンファレンスにも参加してくれました。時間が取れるときにはいつも、わたしたちは近くの小川へ散歩に出かけ、聖文を読んだり、若い女性の『成長するわたし』に取り組んだりしています。

残念なことに、カースティンは18歳になる

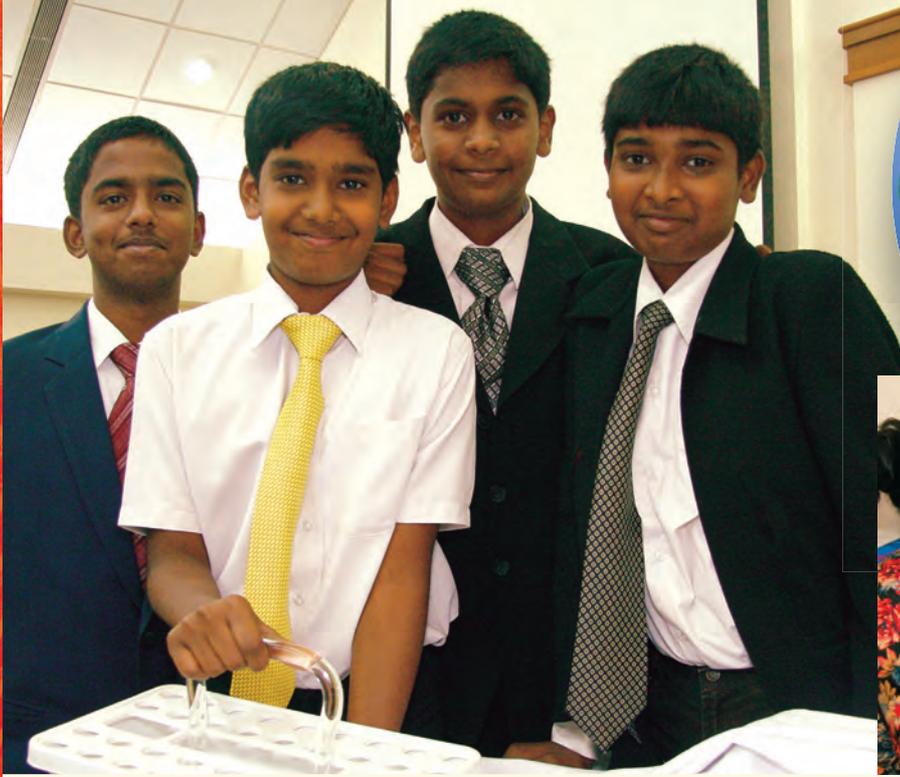
までバプテスマを受けることができません。
しんせき親戚の人たちと議論になるのを両親が望まないからです。このような困難にもかかわらず、カースティンは努力をして、今では母親が教会に出席するようになっています。

カースティンはまた、宣教師と一緒に働いています。会う人にはだれにでも教会について話します。カースティンの働きかけによって、宗教にまったく興味を示さない父親でさえ、家族歴史プログラムに深い関心を寄せるようになっています。

カースティンはわたしの模範です。周りの人々に福音について話すのがどれほど簡単かを、身をもって示してくれます。また天の御父がどのようにして御自分の言葉を聞くよう人々を備えられるかを分らせてくれるのです。わたしたちに必要なのは口を開くことと信仰を持つことだけです。後のことは、おのずからうまく運ぶでしょう。■



友達から、
兄とわたしが宗教のクラスに
出席しないのはなぜかと
尋ねられました。
この質問が、
友達に福音について話す
きっかけとなりました。



しんけん 神権を受けるときに備える

教会機関誌

リチャード・M・ロムニー

インド・バンガロール地方部バンガロール第2支部の教会につどっている11才の少年ハンセン・プラブダスはわくわくしていました。教会が終わった後、同じ支部の年上の少年たちから聖餐の準備や祝福、そしてパスの仕方を教えてもらうことになっていたのです。

まず、アロン神権の教師の少年たちが、どのようにしてトレーにパンを準備し、カップに水を入れるのかを、やって見せてくれました。

次に、祭司の少年たちが聖餐の祝福のいのりを読み、テーブルクロスのかたおし方を教えてくれました。

そして最後に、執事の少年たちが、どこに立

ち、どうやって聖餐のパスをするのか、そしてみんなに敬虔な気持ちを感じてもらうにはどうしたらいいか教えてくれました。

「アロン神権は大切なものです」とハンセンは言います。「だから神権を受けのためにいろいろな準備をしなくてはなりません。」

聖餐のことを学びながら、ハンセンは聖文も読んでいます。そして戒めを守り、両親に従おうと努力しています。また、初等協会で教会

のことも学び、9歳の弟のギデオンの良い模範となっています。

神権の祝福

ハンセンは、お父さんから神権のことをたくさん教えてもらっています。お父さんはメルキゼデク神権を持ち、長老定員会会長会で奉仕をしています。「お父さんはほくとギデオンのバプテスマをしてくれました」とハンセンは言います。「そしてお母さんが病気のときは、具合がよくなるように神権の祝福をしてくれます。」

負担を軽くする

また、ハンセンのお父さんは、お母さんが買い物や料理をするとき手伝います。「お父さんは家族を助けるためにできることは何でもしてくれます」とハンセンは言います。ハンセンの両親はたくさんの人を、特に教会の中で多くの人たちを助けています。





ハンセンは模範を示すことについて、いろいろなときに学んでいます。例えば、同じ支部のアロン神権者と一緒にいるときや、家庭の夕べのとき、サッカーをしているとき、そして弟のギデオンと一緒に食事のしたくをしているときなどです。

ハンセンのお母さんは支部の初等協会の会長にめられているので、いそがしいことが多いです。ハンセンは野菜を買いに行ったり、皿洗いをしたりして、お母さんが楽になるようにしてあげています。

「ぼくはお母さんとお父さんが大好きです」とハンセンは言います。「毎週家庭の夕べを開いたり、家族で聖文を読んだり、家族みんなでおいのりしたりしています。」

一生奉仕を続ける

11才になったら、準備しないといけないことがたくさんあります。「聖霊の声にもっと耳をかたむけるようにならないといけません」とハンセンは言います。「神権定員会や若い男性、それからセミナーで福音を学ぶようになると、聖霊が導いてくださるようになります。これは全部、専任宣教師になるための準備に役立つと思います。そして貧しい人を助けたり、もっと良い奉仕をしたりするにはどうしたらいいか学ばないといけません」とハン

センは言います。「これから一生奉仕を続けていくための準備をする必要があります。神権の目的はイエス・キリストのようにほかの人に奉仕することだからです。」

聖文の中でハンセンのいちばん好きな話は、ノアの箱船の話です。「箱船に乗るときに動物がノアに従うところが好きです。」自分が神権を受けるために、たくさんの準備をしなければいけないのと同じように、ノアも将来起こることのために、たくさんの準備をしなければならなかったことをハンセンは知っています。

「バドミントンやクリケットやサッカーでも、大切なのはチームでプレーすることです。」

これは神権と似ています。神権定員会でもチームとして働かないといけないからです。」

ハンセンの趣味

スポーツ——ハンセンがいちばん好きなスポーツはバドミントンです。でもハンセンは弟や近所の友達とクリケットやサッカーをしたり、ただ、かけっこをしたりするのも好きです。「バドミントンやクリケットやサッカーでも、大切なのはチームでプレーすることです」とハンセンは言います。「これは神権と似ています。神権定員会でもチームとして働かないといけないからです。」

魚の飼育——ハンセンはアパートの裏に置いてあるバケツでグッピーの卵をかえしています。卵がかえ

ると、小さな水槽に移します。「グッピーのきれいな色と、グッピー同士と一緒に遊ぶのを見るのが好きです」とハンセンは言います。

歌——「愛の言葉」(『子供の歌集』, 102 - 103) はハンセンのいちばん好きな初等協会の歌です。ハンセンとギデオンはイエス様についての歌、特に賛美歌を歌うのが好きです。「賛美歌を歌うと、家族はいつも愛を感じます」とハンセンは言います。■



今年（ことし）はわたしたちと一緒に
テンブルスクウェアの
おもな場所を見て回（まわ）りましょう。



ソルトレーク神殿



教会機関誌
ジャン・ピンボロー

今日は1月のとても寒い日です。ソルトレーク神殿のとうは、うっすらと雪をかぶっています。でもケートは寒さも忘れるくらいわくわくしています。ケートはユタ州ローガンの家から、ソル

トレーク神殿のツアーのために、テンブルスクウェアにやってきました。神殿は神聖な場所（ばしょ）で、すばらしいものをたくさん見たり、学んだりすることができます。

ケートについて

- 現在6年生。
- 趣味は絵（え）をかくこと、ピアノをひくこと、歌うこと、体操、サッカーをすること。
- 将来の夢は母親、薬剤師、動物園の飼育係になること。
- トーマス・S・モンソン大管長が神の預言者であり、家族は永遠に一緒にいられるというあかしを持っています。

神殿の中に入る準備

ケートは言（い）います。「神殿はとても特別な所（ところ）なの。中（なか）に入れる年（とし）になるまで待ち切れないわ。」ケートはもうすぐ12才になるので、死者のためのバプテスマができるようになるまで、それほど長く待つ必要（ひつよう）はありません。ケートはその日に備（た）えることの大切（たいせつ）さを知っています。そのために、自分の体を大事（だいじ）にして、思いと体を清く保（たも）っておかなくてはなりません。

オンラインサイトと動画

www.friend.lds.org にアクセスしてみてください。テンブルスクウェアに関する楽しいサイトがあります。また神殿の中で行われている死者のためのバプテスマについての動画もあります。

神殿のかべには
あつ厚さが2メートルの
ものもあります!



金色のモロナイ像が

いちばん高いとうの上に立っています。
その下の花こう岩には
「きよきを主にささぐ」という言葉が
まじまじと刻まれています。



開拓者たちがこの神殿を建てるのに
どれくらいかかったのでしょうか。

神殿には木でできた大きなドアがありますが、
ケートはその真鍮のドアノブに答えを見つけました。



北斗七星は本物の北極星を指すように
ほられています。



花こう岩でできた神殿の壁には
太陽、月、地球、雲、星の形がほられています。

どうやって
神殿を建てたのですか。

ブリガム・ヤング大管長(1801 -
1877年)はソルトレーク盆地に着いた
4日後、今神殿が建っている所に行きま
した。そしてつえを地面にさし、こう言いました。

「ここに神殿を建て、神にささげよう。」

石工が山から巨大な花こう岩のブロックを切り出
しました。そしてそれを牛が40キロ先のテンプル
スクウェアまで運びました。何百人もの人々が神殿
を建てるために働きました。その中には青少年も
いました。子供たちは神殿建設のために寄付するお
金をかせぎました。そして時々、巨大な花こう岩の



ブロックのある所でかくれんぼをして遊びました。

神殿が完成するまで40年かかりました。ウィル
フォード・ウッドラフ大管長(1807 - 1898年)
が1893年に神殿をほうけんしたときには、およそ
1万5,000人の子供たちがほうけん式に参加し
ました。



あめ玉

J・ハービー・ハピ

実話をもとに書かれました。

レーチェルは目が覚めるとおなかがすいていました。ベッドから飛び出すと、食品だなに向かって走って行きました。とびらを開け、いちばん上のたなを見わたすと、そこにはあめ玉が詰まったびんがありました。ビー玉のようにきらきら光るあめはレーチェルの大好物です。おいしいチョコレートが真ん中に入った赤みがかかったオレンジ色のあめ玉を見ると、もうがまんができなくなりました。

レーチェルはす早く辺りを見わたし、お母さんやお父さんが見ていないか確かめました。二人の声が遠くに聞こえましたが、姿は見えません。レーチェルは食品だなの所まで静かにいすをおし、その上に乗りました。そして手をのばし、びんのふたを開けました。手にいっぱいのおめ玉をつかむと、ふたをしめ、急いで廊下を歩き、自分の部屋に向かって行きました。すると、両親の声が近づいてきたので、洗面所にかくれ、ドアを閉めました。

レーチェルはおなかをすかせながらそのあめ玉を見ていると、ふとこう思いました。「あめ玉をほうり上げて、口でキャッチできるかな。」そして迷わずあめ玉を空中に高く投げました。あめ玉は頭の上で一瞬止まり、次の瞬間、大きく開いた口の中へまっすぐ落ちてきました。するとあ

レーチェルはあめ玉を空中に投げ、口でキャッチしました。

でもそのあめ玉はのどの中へまっすぐ落ちてきました。息ができなくなりました。

あめ玉はのどにひっかり、息ができなくなりました。

レーチェルはさげぼうとしましたが、声が出ません。「お父さん、助けて！」心のなかでさげびました。「天のお父様、どうか助けてください」といのりました。息をしようとして必死にもがいても息はできず、なみだがこぼれてきました。気持ちが悪くなり、頭がくらくらしてきました。

突然、お父さんが洗面所へかけこんできました。そしてレーチェルを後ろからだき上げ、うででぎゅっとだきしめました。ポトン！飛び出たあめ玉は洗面台のなかへころがり落ちました。レーチェルは大きく息を吸いました。お父さんはレーチェルを落ち着かせ、だき寄せました。「よしよし、レーチェル。」お父さんはやさしく言いました。「もう大丈夫だよ。」

「ありがとう、お父さん」とレーチェルは言いました。「勝手にあめ玉を取ったりしてごめんなさい。大好きよ、お父さん。」



お母さんが洗面所にやって来て、「どうしたの」と聞きました。「声が聞こえたんだ」とお父さんは言いました。「『あなたのむすめが今大変だ！すぐ助けに行きなさい！』って。それでレーチェルをさがすと、洗面所にいた。でも、どうしたのか分からなかった。すると、その声が『むすめをだき上げなさい！』って言ったんだ。そのとおりにしたら、口からあめ玉が飛び出てきたんだよ。」

お母さんはレーチェルをぎゅっとだきしめました。レーチェルはその日、いろいろなことについて考えました。あめ玉のこと、正直でいることについて考えました。また、息をするたびにどれほど空気がおいしいかについて考えました。そして天のお父様と、お父さん、お母さんをどれほど愛しているかについて考えました。でも、何よりも聖霊のことに

ついて考えました。お父さんが聖霊の声に耳をかたむけてくれたからこそ、窒息せずに助かったのです。レーチェルは、お父さんのようになって、いつも聖霊の声に耳をかたむけたいと思いました。■



「わたしたちには聖霊の賜物が与えられ、あらゆることについて導きを受けることができます。」

七十人 W・クレグ・スウィック長老
「目標を高く持つ」『エンサイン』2002年8月号, 43



エホバと 天のお父様の すばらしい計画

ダイアン・マンガム

太陽や月、そして地面さえもまだなかったころ、わたしたちはみんな天の両親と一緒に住んでいました。わたしたちは、れいの子供であり、肉体はまだありませんでした。

わたしたちは天のお父様を愛していました。天のお父様はわたしたちのことをとても愛しおられるので、わたしたちがご自身のようになり、一緒に永遠に暮らせるように望んでおられました。そしてお父様が知っておられることをすべて、わたしたちに知ってほしいと望んでおられました。でもどうしたらそのすべてを学ぶことができるのでしょうか。

天のお父様にはすばらしい計画がありました。天のお父様はわたしたちをみんな集め、ご自分の計画について聞かせてくださいました。川や山があり、花が咲き、動物たちが住む美しい世界を造り、わたしたち一人一人に、地球に来て肉体を持つ機会をあたえるという計画です。暖かい砂を両手ですくい上げ、やわらかい草を足の裏で感じるができるようになるのです。

地上では家族があたえられます。家族はわたしたちを養い、守り、愛してくれます。

わたしたちは地上では天のお父様のことを思い出すことができなないので、お父様のことについて学ばなければなりません。聖文や預言者、両親が、天のお父

様のことを教えてください。わたしたちは天のお父様に従わないようにゆわくされたり、間ちがいをしたりすることがあります。そして時には病にかかり、いつかはみんな死ぬ時がやって来ます。

エホバは天のお父様の最初の子供でした。エホバはいつも天のお父様に従い、お父様のようでした。エホバは天のお父様の計画を受け入れられました。天のお父様のれいの子供にはルシフェルという子供もいました。ルシフェルはその計画に逆らい、わたしたちに善悪を選ぶ自由があつてはならないと言いました。

天のお父様の計画を実行するためには、だれかが地球に行って、わたしたちが天へもどるための方法を学べるようにする必要があると天のお父様はおっしゃいました。

どのようにして天のお父様に従えばいいかを、だれかが示してくれる必要がありました。そのようなことができるほど従順であったのはだれでしょうか。



エホバという名前

エホバはイエス様がベツレヘムでお生まれになる前、天におられたときに呼ばれていた名前です。エホバは「永遠」や「不変」という意味です。イエス様はいつまでも変わらないお方なのです。イエス様はいつも天のお父様に従い、いつもわたしたちを愛しておられます。





にくたい からだ 肉の体とれいの体

わ たしたちの肉の体はれいの体と同じような姿をしています。

わたしたちが死んで、復活した後、わたしたちの体は完全になります。それは健康で丈夫な体です。地上で生きていたときに悪かったところはすべてよくなります。それぞれがいちばんよい状態になるのです。



神会

神会には別々の3人のお方がおられます。

1. 神であるわたしたちの天のお父様は、わたしたちのれいのお父様です。わたしたちは天のお父様においのりをします。天のお父様は骨肉でできた完全な体を持っておられます。
2. イエス・キリストはわたしたちの救い主です。イエス様は、天のお父様がわたしたちに望んでおられる生き方を示してくださいました。イエス様はなくなり、そして復活されました。このおかげでわたしたちはくい改めて、復活できるようになったのです。イエス様は骨肉でできた完全な体を持っておられます。わたしたちはイエス・キリストのみ名によって天のお父様にお祈りします。
3. 聖霊は霊の体を持っておられます。天のお父様は聖霊をつかわすことによって、わたしたちをなくさめ、正しい道を選べるように助けてくださいます。

わたしたちが間ちがったとき、くい改めることができるように、だれかがわたしたちの罪をあがなう必要がありました。そのようなことができるほど善良であったのはだれでしょうか。

わたしたちがみんな復活し、天にもどることができるようにするため、だれかが死に、そして復活する必要がありました。そのようなことができるほど大きな勇気と愛を持っていたのはだれでしょうか。

このようなことをすべて、わたしたちのために進んで行ってくれるような人がだれかいたのでしょうか。

そのような人が一人いました。わたしたちのいちばん上のお兄さんであるエホバはおっしゃいました。「わたしがここにあります。わたしをおつかわしてください。」(アブラハム 3:27)

そのようなイエス様を、どれほどわたしたちは愛したことでしょう。

エホバは地上に來られたとき、わたしたちの救い主でした。そしてイエス・キリストと呼ばれました。■



現世

植 物や動物、また地上にいる人はいつか死にます。これはみんな生きて、成長し、やがて死ぬという意味です。死はこの地上での現世の一部であり、天のお父様の計画の一部なのです。わたしたちは死ななければ、天の家に帰ることはできないのです。

せいぶん日記

サンドラ・タナー、クリスティーナ・フランコ

せいぶん 読むときに
ゆうわくから まもられ
毎日 読むたびに
しゅから 力 いただく¹

せいぶんには かみさまの 教えが するされています。また かみさまが 子どもたちに どのようなことを してくださったかが きろくされています。せいぶん日記は、ふくいんの 教えを りかいし、その教えに したがって 生活するために、みなさんが どのように 学んでいるかを 書きとめるための、みなさんじしんの きろく書です。今年 みなさんは、毎月 一つの せいいくを 学び、その教えを 行いに あらわすようにします。天のお父さまは、みなさんが 自分から すすんで せいぶんを 学び、その教えに したがって 生活できるように 助けてくださることでしょう。みなさんは、せいぶんの 力を かんじ、あかしを 強めることができます。

せいぶん日記の つかい方

さいてい 12 ページ分ある ノートを 作るか、 買いもとめてください。今年の『リアホナ』には、毎月 一つの せいくと いくつ かの かつど うが とり上げ られていて、せいぶん日記に きろくを

つけるように なっています。読み、書き、りかいするうえで たすけが ひつようなときは、りょうしんや、おにいさん、おねえさん、友だち、または しょとうきょうかいの 先生に 手つだってもらってください。

2010年 1月せいぶん日記

しんこうかじょう だい1じょうを 読みましょう。しんこうかじょうは、『高価な真珠』の中に あります。

しんこうかじょうが しんじつであると 分かるように いのりましょう。天のお父さまと お

ん子 イエス・キリストの あいをかunjられるように ねがいも ためてください。このあいは じあいと よばれています。

しんこうかじょうを あんきしま しょう。

下に しょうかいされている かつどうの どれか一つを えらぶか、自分で 考えたことを 行ってください。

- ほかのひとが このせいいくを 学ぶことができるように たすける。
- ほかの人が かみさまの あいをかunjられるように いる。
- 天のお父さまと イエス・キリストの あいをかunjると、お二方を しんじる しんこうが 強められます。わたしたちは、自分たちが かみさまの 子どもであると しんじています。しゅくふくをかunjやすることで、かみさまが わたしたちの 天のおん父でいらっしやると しんじていることを あらわします。ドアの とっ手 かけたふだ(67 ページを見る)を 見るたびに、その日にうけた しゅくふくについて 考えてみましょう。

じっさいに 行ってみることに どう やくだつでしょうか。■

注

1. 「聖文の力」[2006年分かち合いの時間、ならびに聖餐会での子供の発表の概要] 10 - 11



わたしたちのページ



メキシコにある チアウテムバン ステーク、トラスカラン ワードの しょうきょうかいの 子どもたちは、2日間にわたって、ワードに つどう かぞくや、おっとをなくした しまいたちのところに行き、ほうしを しました。さんびかを 歌ったり、にわとりを えさをやるのを 手つだったり、ときには 家の手つだいを することもありました。



ブラジルでは、2008年11月に 大雨がふって、こうすいがおこり、かけくずれも ありました。ぼくは ようちえんで、きふを よびかける ちらしを もらいました。そこで、おもちゃの しょうぼう車と 2だいの バトカーのほかにも いろいろなものを ふくろに 入れて きふしました。

ブラジル、イナシオ・F、4才



わたしは 学校で、ある ひとりのクラスメートを たすけるのが すきです。その子の 名前は アレサンドロといって、たかさんの たすけを ひつようとしています。先生たちは アレサンドロを たすけるために、とても 親切に せわをしています。わたしは 先生に たのまれたとおりに その子のお手つだいを しています。

イタリア、マルティナ・Z、7才



コスタリカ、アンドレス・O、9才



お母さんと 教会で しょとぎょうかいの 歌を 歌うと、しあわせな気持ちになります。歌を 歌うと、みたまを かんじやすくなります。また みたまが とどまっていると、せいさん会が ずっと ずばらしいものになります。

グアドルフ、セフォラ・B、8才、サラリア・B、10才

いとこを しんぱいして

いとこが、おなかが とても いたくなって びょういんに けいゆういんしました。そして たくさん の けんさを うけなければなりません。ほくは、いとこに 手紙を 書いて、がんばるように 言いました。いとこのために おいのりすること も つたえました。また、本や

おかしも いっしょに つめて、びょういんに もって 行きました。お見まいの 帰り、とても よい 気持ち が しました。だれかのために 親切なことを すると、よい 気持ち が して、天のお父さまも およろこびになることを 知っています。

カナダ・アルバータしゅう、ジェーク・S、7才

もういちど もどろう

ホテルの プールで およいでいるとき、ほくたちは プールの そこに かいちゅう時計が おちているのを見つけた。たくさん の人 に たずね 回って おとしぬしを さがしましたが、どうしても 見つけることができませんでした。その日のおわりに、ほくたちは、かいちゅう時計をもって もういちど プールに もどるべきだと かんじました。すると プールの中に 一組のかぞくが

いました。かいちゅう時計のことを たずねると、それが自分たちのもので、1週間、ずっと さがしつづけていたと 言うではありませんか。その かいちゅう時計は 父親のもので、とても こうかなものだというのでした。せいれいの ささやきに したがったことで、時計をもちぬしに かえすことができ うれしいです。

アメリカがしゅう国カリフォルニアしゅう、ハントリー・C (10才)、サラベス・C (9才)、ケーリン・C (7才)

「わたしたちのページ」に 絵や しゃしん、けいけんだんや あかし、手紙を とうこうしたい人は、けんめいの ところに「わたしたちの ページ」(Our Page)と書いて、電子メールで 送ってください。おくり先は liahona@ldschurch.org です。ゆうそうするばあいは、下のあて先に おくってください。

Liahona, Our page

50 E. North Temple St., Rm. 2420

Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

応募の際には、必ず子供の姓名と年齢、それに父親または母親の名前、ステーク、地方部、ワード、支部名を明記し、子供の写真や提出物を使用する許可文(電子メールで可)を添えてください。紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために、編集されることがあります。

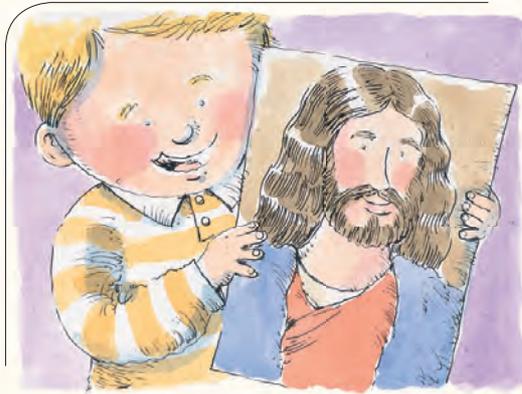


タナーの せんせいにおしえる

ロンダ・ビンセント

じつわ 実話をもとに書かれました。

「せんきょうしに
なりたいな。
いますぐに
なりたい。」
（「せんきょうしに
なりたいな」
こども かしゅう
『子供の歌集』, 90）



1. あるひ、タナーは イエスさまの えをもらいました。タナーは そのえが だいすきでした。そこで だれかに あげたいとおもいました。イエスさまのことを しらないひとが いることを していたからです。



3. タナーは ようちえんに いったときに その えを ヤングせんせいに プレゼントしました。イエスさまの えを もらったヤングせんせいは、よろこんでくれました。せんせいが えを きにいつてくれたのでタナーは うれしくなりました。

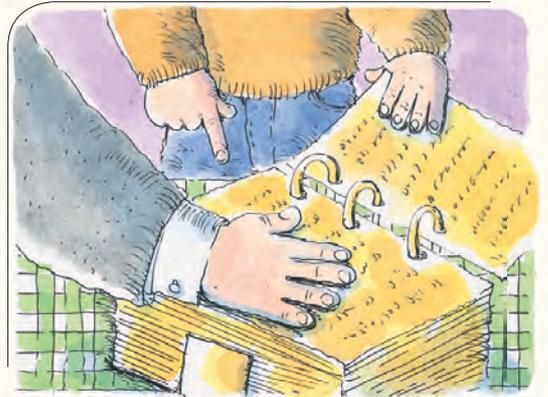


2. 「おかあさん、イエスさまの えを だれかに あげても いい？」と タナーは ききました。

「もちろんよ。だれに あげるの」と おかあさんが ききました。

「ヤングせんせいに あげたいんだ。たくさん おはなしを よんでくれるから だいすきなんだ。」

「それは とてもいい かんがえね。タナー、えらいわね」と おかあさんが いいました。



4. それから なんにちかして タナーは かぞくと いっしょに モルモンしょの もととなった きんばんに にた ほんをつくりました。そして その ほんに みんなで あかしかきました。

「おかあさん、このほんを ようちえんにもって行って ヤングせんせいに みせてもいいかな」と タナーが たずねました。

「ええ、いいわよ」と おかあさんが いいました。



5. つぎのひ タナーは かぞくで つくった きんぱんの ^{はい}入った バッグを せおって ようちえんに いきました。そして ヤングせんせいに かぞくで つくった そのほんについて はなしました。すると せんせいは もっと しりたそうな ようすでした。



7. それから すうかげつして タナーとおかあさんは ヤングせんせいと ごしゅじんの バプテスマかいに しゅっせきしました。

「せんせいに イエスさまの えを あげて ほんとうに よかった」と タナーが いいました。

「せんせいも とても よろこんで いらっしゃると おもうわ。ヤングせんせいと ごしゅじんが きょう バプテスマを うけられたのは あなたの おかげだから」と おかあさんが いいました。



6. そのひ タナーを むかえにきた おかあさんの ところに ヤングせんせいが はなしに やってきました。

「タナーが きょう とても おもしろいものをもってきてくれたのですが、もっと おはなしを きかせて いただけませんか」と ヤングせんせいが たずねました。

「ごしゅじんと いっしょに うちに しょくじに いらっしゃいませんか。そのときに、もっと おはなしできると おもいます」と おかあさんが せんせいを しょうたいしました。

「まあ、それは すばらしい」と ヤングせんせいが いいました。



8. タナーは、ヤングせんせいが バプテスマを うけるのを みて、しあわせな きもちになりました。おかあさんが、タナーに よりかかりながら、「4さいでも りっぱなせんきょうしね」と ささやくと タナーは にっこりと ほほえみました。

せんきょうしのように

てんのおとうさまが わたしたちのために たてられた けいかくについて、せんきょうしは いつのじだいも おなじことを ひとびとに つたえてきました。エノクは イエスさまが ちじょうに おうまれになる まえの よげんしゃでした。しゅは げんだいの せん

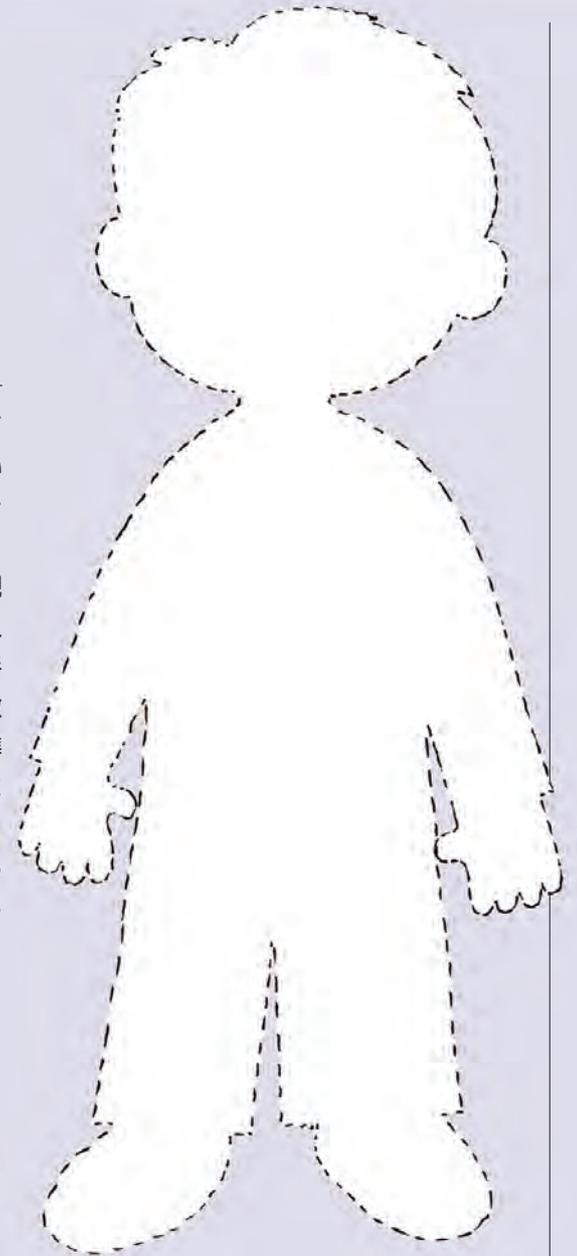
きょうしと おなじように、エノクに、ひとびとに ふくいんを わかちあうようにと いわれました。エノクの えに いろを ぬりましょう。つぎに、タナーの えに さいきんの せんきょうしの ふくそうを かきいれて みましょう。



親のみなさんへ —— エノクは、天の御父から、福音を分かち合うようにと言われたことを説明してください。エノクは、自分には十分な知識がないので、分かち合うことはできないと思いました。しかし主は、主の助けがあれば何でもできるとエノクに言われました。エノクは従順だったので、人々を教えることができるように、主はエノクを祝福してくださいました（モーセ6：31－38 参照）。エノクのように立派な宣教師になるために今何ができるか、子供たちに尋ねてみてください。

親のみなさんへ ——

専任宣教師の召しを受けていないタナーのような幼い子供でも、伝道活動ができることを説明してください。子供たちがタナーの絵に現代の宣教師の服装を描き入れることができるように手伝ってください。専任宣教師になるために今どんな準備ができるか、子供たちに質問してみましょう。祈る、聖文を読む、人々を助けるといった事柄について話し合ってください。

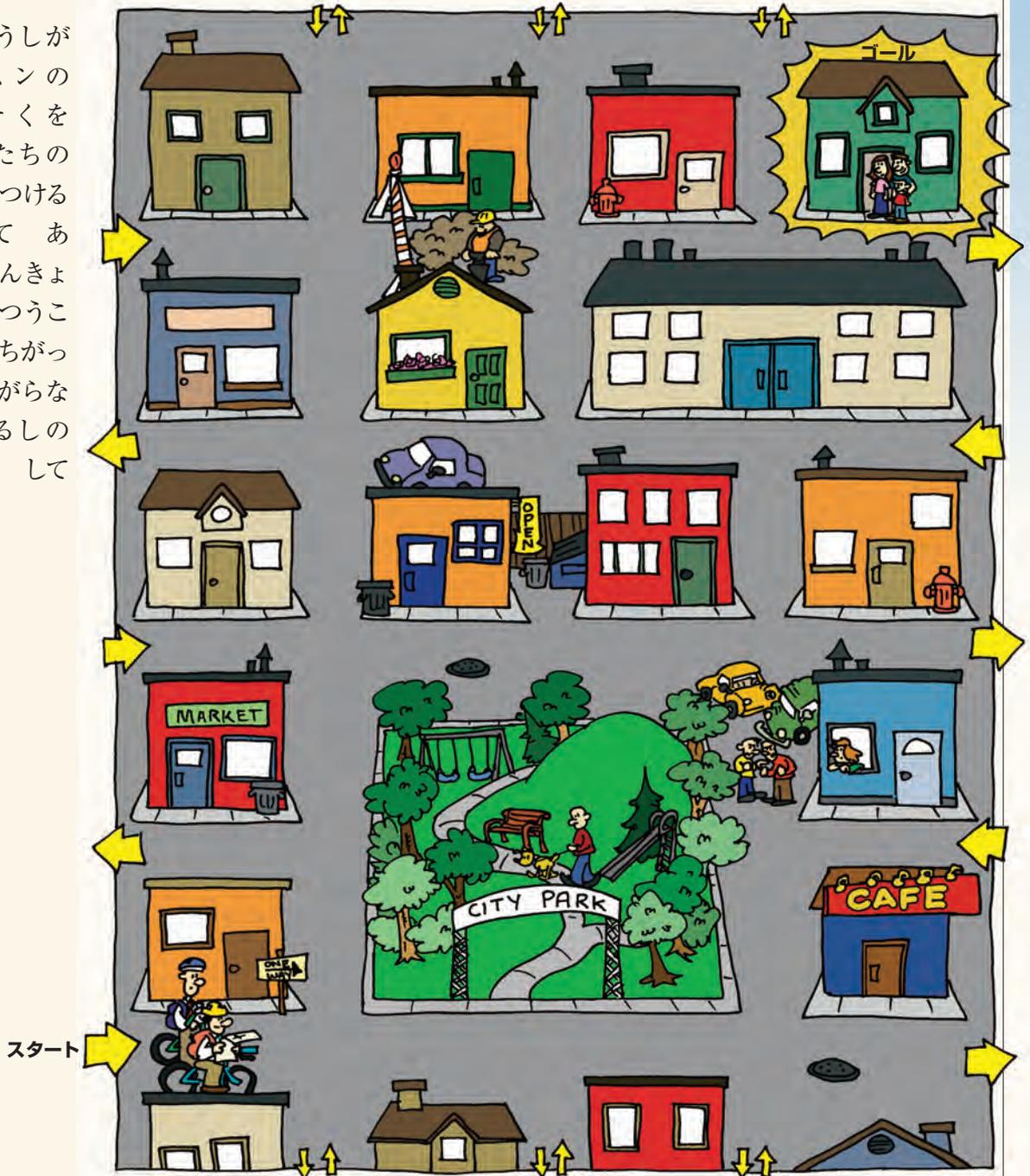


せんきょうしをたすける



アリー・バン・デ・グラーフ

せんきょうしが
レッスンの
やくそくを
している
ひとたちの
いえに
おじに
つける
ように
たすけて
あげましょう。
せんきょうしが
いっぽうつうこうの
みちで
まちがった
ほうこうに
まがらない
ように
やじるしの
むきに
ちゅうい
してください。



絵/アリー・バン・デ・グラーフ

徳高い一人の女性が世界を変える

教会機関誌

ヘザー・ウィットル

2008年4月、新たに召された中央若い女性会長会（イレイン・S・ダルトン、メアリー・N・クック、アン・M・ディブ）は、ソルトレーク・シティの北端に位置するエンサインピークの頂上に立ち、眼下に広がる盆地を見渡した。

その目には、ソルトレーク神殿のいたで輝く天使モロナイ像が見えた。そのとき彼女たちは、主が教会の若い女性たちに何を望んでおられるのかを悟った。

3人は杖を高く掲げ、杖に結びつけたペルー製の金色のショールを振った。それは、「徳に立ち返る」よう国々に呼びかける旗印であった。

「『徳』というこの新しい徳質について語るには、この徳質が加えられた目的が神殿であることを述べなくてはなりません」とダルトン姉妹は言う。「神殿こそが、わたしたちが今若い女性の組織の中で行っているすべてのことを行う理由なのです。なぜなら、神殿を目標にすることによって若い女性たちはキリストのもとに来ることができるからです。」

「徳」が若い女性の徳質に正式に追加されたのは、2008年11月である。「徳」の定義は、冊子『成長するわたし』の中で以下のように述べられている。「徳は道徳的に高い標準に基づいて考え行動するパターンであり、これには純潔や道徳的な清さも含まれる。」（『成長するわたし』〔冊子、2009年〕、70）

「徳」の徳質については、すべての体験とプロジェクトを行わなければならない。——ほかの徳質では若い女性が幾つかの選択肢から選んで実行すればよいので、その点で「徳」は他の徳質と異なっている。



しかも、母親も娘と一緒に『成長するわたし』のプログラムを達成し、表彰を受けるように勧められているという点でも新しい。

昨年、世界中の若い女性やその他の人々が、徳に立ち返るようにとの呼びかけに懸命にこたえた。若い女性事務局には、この呼びかけに応じて行動を起こした人々からの手紙や写真が殺到している。多くの人が山に登って独自の旗を掲げたのである。

アメリカ合衆国ミズーリ州ハンニバルのある若い女性のグループは、徳高く生きるという誓いの旗を高い所で掲げようとしたが、近くに山が見つからなかったため、36階建てのコンクリートのビルに登り、持参した旗を掲げ、徳高い生活を送る決意を固めた。

メキシコでは「若い女性表彰」の名称が、「徳高い若い女性の賞」に変更になった。メキシコの若い女性は徳質に「徳」が追加されたことに胸を高鳴らせている。「これは彼女たちがすでによく知っている徳質です」とダルトン姉妹は語る。

「徳に立ち返るようにとの呼びかけは、教会の内外を問わず各方面から圧倒的な称賛をもって受け入れられました」とクック姉妹は言う。「指導者たちはこの呼びかけを喜んでいます。神権指導者たちはこれを強調しています。そして、母親や祖母たちはこの呼びかけに感謝しています。」

「徳」の徳質のプロジェクトは、モルモン書を最後まで読み、考えたことを定期的な日記に記録することによって「わたしに学びなさい」という救い主の教えに従うことである（教義と聖約19:23参照）。

イギリスのある姉妹から、若い女性会長会あてに1通の電子メールが届いた。「残念ですが、おわび

を申し上げなければなりません。これを達成するには思ったよりも時間がかかりそうです。娘もわたしも、こんなふうにもルモン書を研究したことはありませんでした。とてもすばらしい経験なので、もっと時間をかけたいのです。」

ルモン書からは、徳高く清かったところに繁栄と幸福を享受した社会が、徳を失うことにより減っていく様子を学ぶことができるとディブ姉妹は言う。

男性も女性も同じくらい熱心に、この新しい徳質に取り組んでいると若い女性の会長会はい、若い男性と独身ワードが一丸となってこの徳質を伸ばしている例を挙げた。

ディブ姉妹が強調したのは、最大の祝福を得るために、男性も女性も徳に焦点を当てなければならないということである。「道徳的に清くないと、男性は受けている神権の権能を行使することができません。そして女性は、徳高い生活を送ることによって妻として、母として、女性としての尊い召しを果たす力を得るのです」とディブ姉妹は語る。

ダルトン姉妹は、「徳」という徳質は、徳を高めること以外は何でも許容されている今の時代のために取っておかれたものだと語る。

「興味深いことに、今の世の中では、非常に多くの若い女性が自分は神の娘であるということ

**2009年8月、
ドミニカ共和国
サントドミンゴ・
インディペンデンシア
ステーキの若い女性と
その指導者たちは
国内にある
カンピータ・ガラビート
という山に登り、
そこで徳高く生きる
決意を表明する
自作の旗を掲げた。**

忘れてしまいがちです。わたしたちはそれを彼女たちに思い出させ、間違いを犯したとしても悔い改めが可能だという事実を教えているのです」とクック姉妹は言う。

徳高く清く生きると決心できるのは、悔い改めを可能にする救い主の贖いの力あがなのおかげだとディブ姉妹は言う。徳質の体験の第4は、悔い改めに焦点を当てている。

昨年、年齢を問わず多くの女性が徳高い女性に立ち返りたいという望みを表明し合った。「〔徳〕が追加されたことにより、〕間違っただ選択をしていた女性たちはとても喜びました。『また徳高い女性に戻れる。自分にもできる』という声を多くの女性から聞きました」とクック姉妹は語る。

徳高い生活を取り戻したいと願う女性の多くは、どこから手をつけていいのか見当がつかない。若い女性の会長会は、このような女性のために、次の方法を提示している。それは、朝晩祈ること、ルモン書を毎日5分以上読むこと、そしてにっこりと笑うことである。

ダルトン姉妹は語る。「教会と世の中のすべての女性がこれを行ったとしたら、5年後の世界がどんなものになっているか想像してみてください。御霊みたまの導きに従う徳高い若い女性は世界を変えることができる、と心から信じています。」■



新年を祝う青少年たち

教会機関誌
ライオン・クンツ

世界中の教会のユニットには、『真新しい年—— 2010年、青少年の祝典』というタイトルのDVDが届いている。このDVDは2010年のミューチャルのテーマを紹介しており、青少年のクラスや定員会の集会、ミューチャル、ビショップと青少年の話し合いその他の活動を補足するために、年間を通じて使用できる。

2010年のミューチャルのテーマは「強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主がともにおられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない」である（ヨシュア1:9；強調付加）。『真新しい年—— 2010年、青少年の祝典』の最初のセグメントでは、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老が特別なメッセージを伝え、次に世界中の青少年の様子が音楽を背景に次々と映し出される。

このDVDにはほかに9つのセグメントがあり、物語や証、音楽による霊的なメッセージや、中央若い男性と中央若い女性の会長会からの特別な発表が含まれている。これらのセグメントは『若人の強さのために』に載っている福音の標準に焦点を当てて、教育、家族と友人、音楽とダンス、デートと徳、健康、奉仕、悔い改めなどのテーマを扱っている。

世界中の青少年の言葉や証がこのDVDの各所に散りばめられている。

「このDVDを見た教会の青少年は他国の青少年の姿を目にし、お互いの証を聞いて強め合うことができるので、わたしたちはとてもうれしく思います」と、中央若い女性会長のイレイン・S・ダルトン姉妹は語る。「このDVDを見ると、勇敢な青少年が至る所で〔教会の〕標準に従って生活することを選び、世の中の人々に良い影響を及ぼしていることが



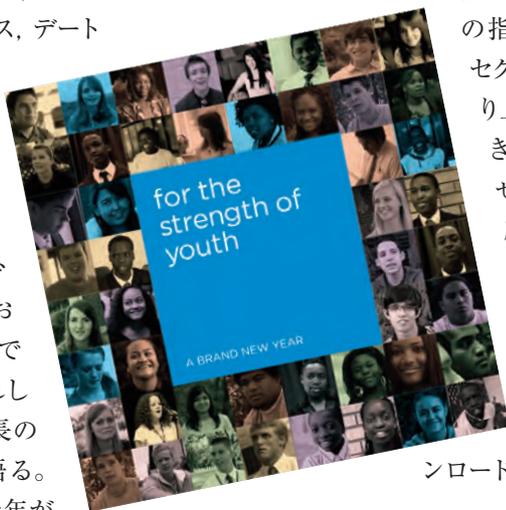
写真：タイラー・ハリス

メキシコのマニエル・サラビアはDVDの中で自分の経験について語っている。

分かります。神権指導者と補助組織指導者と教師の皆さんには、クラスで標準を教える際や活動を行うときにこのDVDを活用し、青少年がこれらの標準を守って生活に取り入れる決意を固められるよう助けていただきたいと思います。」

教会の指導者は、このDVDを見て集会や活動で活用するよう地元の神権指導者と補助組織の指導者に呼びかけている。DVDの最初のセグメントは、大晦日のおおみそかの活動や、年間テーマを採り上げるその他の特別な行事で使うことができる。その他のセグメントは、テーマを発展させるために年間を通して活用できるように構成になっている。

各セグメントには、^{カントン}広東語、英語、フランス語、イタリア語、日本語、韓国語、中国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語の字幕が付いている。DVDに収録されている内容は、インターネットからもダウンロードできる。■



**アフリカの聖徒たちが
奉仕の日に力を結集する**

2009年8月22日、アフリカの30か国以上の教会員が、シャベルと手押し車を携え、黄色のベストを着て、笑顔を見せながら、第3回全アフリカ奉仕プロジェクトに参加した。

象牙海岸のある都市では道路の補修が、リベリアのある町では古い家の修繕が行われた。シエラレオネでは溝掃除、ナイジェリアでは地方庁舎の除草が行われた。ガーナでは市場を掃除して大量のごみを処分した。ケニアと南アフリカ共和国、カメルーンなどでは、会員たちが刑務所の監房とトイレを磨き、植物を植え、道路を補修し、孤児院で働いた。病院や民家の掃除も行い、雑草抜きや、標識作りもした。

アフリカ南東地域の広報ディレクターであるエリック・

ジャクソン長老はこう語る。「会員たちが実証してくれたのは、どんなに大きなプロジェクトであろうと、人数さえ集まればできないものは何もないということです。」

会員が労働している現場には報道陣が詰めかけ、メモを取っていた。

このプロジェクトには教会員



写真：ケー・ジャクソン

以外の人も多数参加した。教会が提携した地元の奉仕団体や別の宗教団体、政府機関が、工具や資材を惜しみなく提供し、作業に参加しさえした。

「キリストの善い行いを見習うためという〔この奉仕の〕目的を聞いて、多くの人が主をたたえ、仲間に入りたと言っ

*水道設備のない地域で
孤児のために
花壇を作る
南アフリカ共和国の
会員。*



写真：ケー・ジャクソン

てきました」とアデシナ・オルカニ長老（西アフリカの地域七十人兼地域広報ディレクター）は語る。■

*政府の役人たちと
ともに沿道の
ゴミ拾いにいそしむ
ナイジェリアの会員。*

**エチオピア初の
ユースカンファレンス**

2009年7月、エチオピアで初めてのユースカンファレンスが開かれ、160人以上の青少年とヤングアダルトが、交流会、ワークショップ、ダンス、証会^{あかし}で構成される一日の活動に参加した。

エチオピアには4つの支部があるが、これらは一つの地方部に組織されているわけではなく、多くの会員は国内にはほかの支部があることを知らなかった。カンファレンスの目的は、霊的に高め合うだけでなく、エチオピアの会員たちが同年代の会員と交流を持てるようにすることであった。

宣教師申請書の提出が終わってアワサ支部初の宣教師になるウォンドウォッセン・アマヌエル（23歳）はこう語る。「あのよう集って活動すると、とても励まされます。わたしの支部は小さいのですが、あのカンファレンスでは自分が大きな群れの中のように感じられました。まるで家族のようでした。」

参加者は誇らしげにCTRの指輪をはめ、「着実に、確実に」(Steady and Sure)というカンファレンスのテーマがプリントされたTシャツを身に着けていた。

宣教師や支部会長、奉仕団体「わき出る希望」(Hope Arising)が一致協力して2か月間準備を進めた結果、

広い地域に散在する支部から、聖徒の開拓者たちをエチオピアのアディス・アベバの礼拝堂複合施設に結集させることが可能になった。

参加者はバスで最高5時間の旅をしてカンファレンスに参加した。しかも、参加者の半数以上は教会員でない人と求道者だった。うち二人はカンファレンス終了後2週間以内にバプテスマを受けた。

「自分と同じように希望と夢を持ち、同じように悩みや心配事を抱えている若者たちがいることが分かると、〔若者たちは〕自信を持てるようになります。独りではないことが分かると、力がわいてくるのです」と専任宣教師のブラッド・ウィルクス長老は語る。ウィルクス長老は妻のカレン・ウィルクス姉妹とともにこのカンファレンスの立ち上げを手伝った。

ルーマニアの若い女性、初めてのキャンプを行う

ルーマニア・ブカレスト地方部の5人の若い女性とその指導者は、2009年8月24日から26日まで開かれたルーマニアの教会では初めてとなる若い女性のキャンプに参加した。会員ではない友人も一人参加した。地方部若い女性会長のディナ・コジョカウ姉妹は、夫婦宣教師のドン・バン・ノイ長老とエディ・バン・ノイ姉妹の助けを受けてキャンプを指導した。

少女と指導者たちは、朝晩にデイボーショナルを開いて毎日一緒に聖文を研究した。バン・ノ

イ長老と姉妹は、「徳」や「教会での上手な話のしかた」などのテーマでワークショップを行った。別のワークショップで、少女たちは、慎みについて学び、流行の服を高潔さを保ちながら着こなす方法について学んだ。

若い女性の一人であるアリーナ・マティーシュは、徳高い若い

女性になるには何が必要か分からなかったが、徳に関するワークショップに出て、神が望むような誠実で模範的な若い女性になる自信が持てるようになったと語った。

ヨーロッパ南東部にあるルーマニアには、2,736人の会員があり、17の支部がある。■

世界の短編記事

カナダの統計記録の拡充

ファミリーサーチは、1851年および1861年、1871年のカナダ国勢調査記録索引をオンラインデータベースに追加した。同データベースにはすでに1881年から1916年までのカナダ国勢調査記録が収録されている。1891年度の国勢調査記録も近く追加される計画である。Family Search.orgで検索可能なデータベースには約1,700万もの記録が収録されている。これらの索引は一般の人が無料でアクセスできるため、だれでも簡単に自分の家族歴史について知識を深めることができる。

デトロイトの子供たちのための奉仕活動

アメリカ合衆国ミシガン州の都心部デトロイトは、犯罪や暴力団、違法薬物の街として知られている。この地域では失業率が高く、進学率が低いため、ミシガン州ブルームフィールドヒルズステークは、ユニティ教会と協力して、デトロイト市全体で開催する「地域社会の日」の一環として、学童支援を行った。両団体はノートや鉛筆、クレヨン、消しゴムなどの学用品を集め



写真：ベツィー・アンダーソン

他の宗教団体と共同で子供たちに勉強道具を配る
アメリカ合衆国ミシガン州の都市デトロイトの会員。

て250個余りの通学用背負い袋に詰め、子供たちにプレゼントした。

会員たち山火事を逃れる

2009年9月、アメリカ合衆国のユタ州とカリフォルニア州で発生した山火事のため、70人以上の教会員が家を追われ、そのうちの多くはほかの会員の家庭に避難した。山火事でカリフォルニア州のサクラメントおよびロサンゼルス地域の12万3,000エーカー（5万ヘクタール）以上が焼かれ、2名の消防士の命が奪われ、100以上の建物が倒壊した。ユタ州ニューハーモニーでは、1万エーカー（4,000ヘクタール）の土地が焼き尽くされ、数棟の建物が全焼した。両州では、地元の神権指導者が被災した会員たちの支援に当たった。■

家庭の奇跡

『リアホナ』2008年11月号に載った「どんな出来事も愛しなさい」というジョセフ・B・ワースリン長老の話は、最近厳しい試練に遭った娘に霊的な助けを与えてくれました。娘は妊娠中に、胎児は死亡するだろうという残酷な診断を医師から下されたのです。

日々の家族の祈りと個人の祈りに加えて、ワースリン長老のこの説教がわたしたちに希望を与えてくれました。そして、我が家に奇跡が起こったのです。わたしたちの孫は無事生まれました。しばらくの間入院しなければならなかったものの、一か月検診で、医師は先に認めた症状を確認することはできませんでした。

天の御父が生きておられることと、わたしたちの救い主であり贖い主であるイエス・キリストが生きておられることを知っています。わたしたちは、復活して天の御父とともに永遠の命を得ます。それは現実に起こることなのです。

ロシア、ゲナーディ・ミトチェンコとタチアナ・ミトチェンコ

日曜日ではなく

ある日わたしは日曜日に開催されるサッカーの試合のチケットを手に入れました。妻に電話して一緒に試合に行かないかと誘うと、妻はそれには答えず、「家に帰ったら『リアホナ』を読んでみて」と言います。

わたしは家に帰ってブラジル出身の若い女性の話を読みました。フランスで行われたワールドカップの決勝戦が日曜日に当たっていたため、行かなかったという話でした（スザーナ・アルベス・デ・メロ「ワールドカップを見られなくても」『リアホナ』2007年6月号、37参照）。まるで天の御父がわたしにこう言っているように感じました。「わたしはあなたがサッカーが好きなのを知っています。しかし、日曜日はわたしの日です。行ってはいけません。」そこで、わたしは試合に行くのをやめました。それからずっと、わたしは預言者の言葉を読むようにしています。この機関誌は、わたしたちの人生の羅針盤です。困難の多いこの世の中を生きるわたしたちに力を与えてくれるのです。

ブラジル、アンダーソン・カーベジャン

何も恐れることはない

この8年、わたしは涙なしに『リアホナ』を読んだことがありません。わたしと同じように苦しんでいる人がいることが分かりました。でも、わたしたちには霊に深く根を下ろした証があるのです。乗り越えられないことなど何もないのです。

この機関誌は、わたしの人生の特別な羅針盤です。なぜ『リアホナ』という名前が付いているのか、わたしには分かります。

アメリカ合衆国イリノイ州、エドウィン・ウルティア

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

「山を形成する」32ページ

——この記事では、試練を克服することを登山にたとえています。坂道を上ったり、階段を何段か上がったりする活動を計画してもよいでしょう。このような活動は、家族が原則を思い出して活用するのに役立ちます。

「御霊の助けを受ける」44ページ —— この記事を家族で読んだ後、御霊のささやきに従って祝福を得た経験を皆で分かち合ってもよいでしょう。

「答えを求めて祈る」56ページ —— この記事を導入として使い、祈りの答えを受けたときの経験を分かち合うよう家族に勧めてもよいでしょう。



「あめ玉」62ページ

——幼い子供たちを家庭の夕べに集中させる方法の一つは、話をするとき声や表情を変えることです。（『教師 —— その大いなる召し』、181参照）幼い子供たちに「あめ玉」を読み聞かせたり、話して聞かせたりする際にこの手法を使うと、その効果を実感できるでしょう。

「あなたがたはわたしを見つけるであろう」80ページ —— 家族でかくれんぼをしてから、エレミヤ29：13-14の「あなたがたはわたしを尋ね求めて、わたしに会う。もしあなたがたが一心にわたしを尋ね求めるならば、わたしはあなたがたに会う」という約束とかくれんぼを結び付けて、楽しい活動にすることができます。

時を超えて続く家庭の夕べ

何年も前のこと、わたしたちは「夜明けだ、朝明けだ」（『賛美歌』1番）を歌って家庭の夕べを始めました。5人の子供に、その週にできそうな活動をそれぞれ提案するように言うと、5歳のフェルナンドが切実な様子で、「夜が明けて、朝が来るのってどんなだか見てみたいな」と言いました。わたしたちは夜が明けていくときの様子を、何とか説明しようとしてました。太陽が昇り、朝のそよ風が吹き、一面の朝露が輝く情景を。でも息子はどうしても満足せず、「見てみたい」と言い続けました。

そこでその週の木曜日、朝4時に起きてみんなで車に乗り込み、東の空がよく見える場所に行きました。その日の朝の太陽は、まるで天国からそのまま出て来たかのように。幾つもの黄色い輪が光り輝くサンゴのようになり、雄大な太陽の曲線が現れました。荘厳な情景でした。

その30年後、我が家に来ていたフェルナンドの幼い息子、フェルナンディートがこう言いました。「あのね、おばあちゃん。パパが日の出を見に連れて行ってくれたんだよ。」

メキシコ、ハリスコ、セルヒオ・トレホ・レイエス

「あなたがたはわたしを見つけるであろう」

教科課程部

アロン・L・ウェスト

日曜学校のレッスンのまとめとして、ハート姉妹はエレミヤ書第29章を開くように言い、12節から14節までを声に出して読むので、そこに書かれていることを深く考えてほしいと言いました。「その時、あなたがたはわたしに呼ばわり、来て、わたしに祈る。わたしはあなたがたの祈を聞く。

あなたがたはわたしを尋ね求めて、わたしに会う。もしあなたがたが一心にわたしを尋ね求めるならば、わたしはあなたがたに会う〔訳注——英語では「あなたがたはわたしを見つけるであろう」〕と主は言われる。……」

ハート姉妹はそのまま14節を最後まで読み続けましたが、わたしは幸せな思いに浸りながら、「あなたがたはわたしを見つけるであろう」という主の約束を味わっていました。幼い子供たちとかくれんぼをし、妻と二人で隠れたときのことを思い出していたのです。わたしたちが隠れて子供たちが探す番のときにはいつも、わたしたちは見つけやすいようにしました。物音を立てたり、よく見えるように片足を出しておいたりして、すぐに見つかるようにしたものです。何度も同じ場所に隠れたこともあります。子供たちに探してほしいと思うと同時に、見つけてほしいとも思っていたのです。子供たちに抱きつかれ、楽しく誇らしげな、屈託のない笑い声に包まれるのが待ち遠しくてなりません。

このことを思い出したとき、天の御父がわたしたちに抱いておられる愛について理解を深めることができました。御父はわたしたちに、御自分を探し求めてほしいと望んでおられると同時に、見つけてほしいとも望んでおられます。御父を見つかるときに、わたしたちがどれほどの喜びを味わうかを御存じだ



幼い子供たちとかくれんぼをし、妻と一緒に隠れたときのことを思い出しました。わたしたちは子供たちに探してほしいと思うと同時に、見つけてほしいとも思っていました。

からです。主はわたしたちから隠れようとはされません。むしろどこを、どのように探せばよいか分かるように、あらゆる方法で助けてくださいます。聖文を与え、預言者を召し、祈りを聞き、聖霊の力によって導き、神殿や神権の儀式、家族や友人という祝福を下さっています。そしてもし一度どこかで主を見いだしたなら、進んで再び探し求めさえすれば、必ずまたその場所で主を見いだすことができるのです。

「あなたがたはわたしを見つけるであろうと主は言われる。」何と慰めに満ちた約束でしょう。いともたやすく苦難や誘惑に見つかってしまうように思われる世の中であって、最も偉大な力の源を簡単に見つけられると知っているのは、心強いことです。■



「ナザレの会堂におけるイエス」 クレグ・K・オルセン画

「すると預言者イザヤの書が手渡されたので、その書を開いて、こう書いてある所を出された、
 『主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。
 主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、
 打ちひしがれている者に自由を得させ〔イザヤ 61:1 参照〕、……
 そこでイエスは、『この聖句は、あなたがたが耳にしたこの日に成就した』と説きはじめられた。……
 その言葉に権威があったので、彼らはその教に驚いた。』(ルカ 4:17-18, 21, 32)



よこそ、新しい『リアホナ』へ！すべてのページは、あらゆる世代の教会員の皆さんを念頭に置いて創られています。しかし、あるグループの方々に特に関心を持っていただけるページもあります。

- ヤングアダルトの皆さんは42ページを開いてみてください。
- 青少年の皆さんは46ページを開いてみてください。
- 子供の皆さんは58ページを開いてみてください。
- 小さな子供を持つ親の皆さんは、子供たちと一緒に70ページを開いてみてください。

でもそこで読むのをやめないでください。あなたの新しい『リアホナ』を知り、使っていくうちに、もっと多くの発見があるでしょう。

